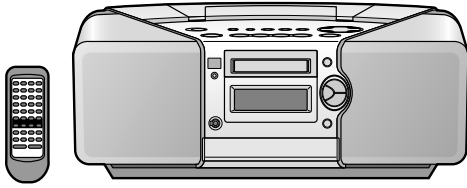
Panasonic®

パーソナル MD システム

取扱説明書

品番 RX-MDX50

保証書別添付

上手に使って上手に節電

このたびは、パーソナル MD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

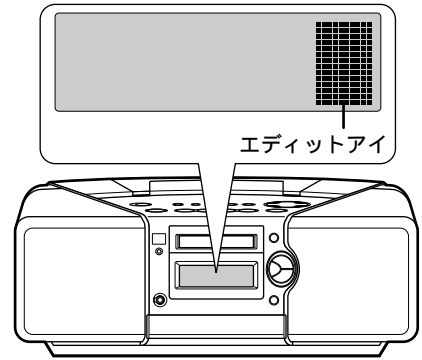
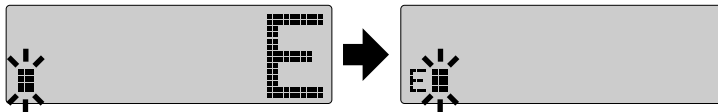
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

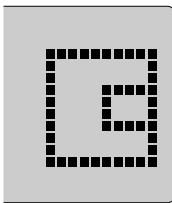
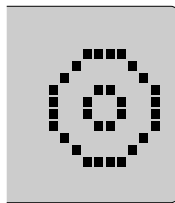
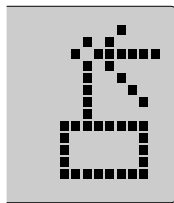
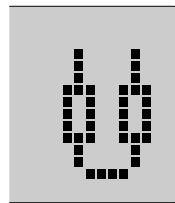
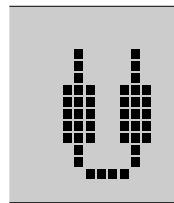
RQT5558-S

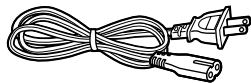
本書の見かた

本書では、本体での操作を主にして説明しています。
リモコンでも、本体のボタンと同様の名前のものは、同じように操作できます。
（リモコンのみで行う操作には、**リモコンのみ** と記載しています。）
それぞれのボタンについては、44 ページ「各部のなまえ」をご参照ください。

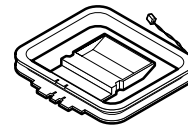
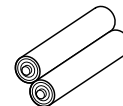
本機のエディットアイについて

エディットアイ搭載の大型ディスプレイにより、MD タイトル入力時（⇨28ページ）に表示される文字が大きいため、離れたところからでも、確認しながらリモコンで入力できます。
また、操作や状態により、それらをイメージするいろいろなキャラクターが表示されます。

（例）タイトル入力時

（例）

MD のとき

CD のとき

ラジオのとき

AUX のとき

P-MD のとき

付属品の確認

■電源コード ……………………1 本
（品番：RJA0059-J）

お願い
付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。

■リモコン ………………………1 個
（品番：EUR648102）

■AM ループアンテナ …………1 個
（品番：RSA0031）

■リモコン用・単3形乾電池 …2 個

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　）内は買い替え時の品番を表します。

もくじ

まず
確認と準備

もっと
使いこなしたいとき

もし
必要なとき

ご使用前に
使いかた
必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

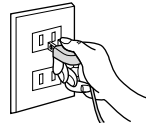
⚠警告

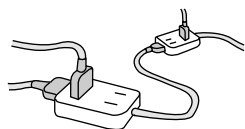
電源コードについて

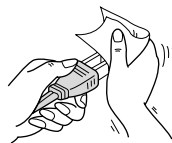
電源コード･プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

- 傷んだまま使用すると、感電･ショート･火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ、機器やプラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く

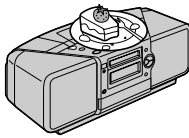
電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠警告

ご使用について

機器の上にものを載せない

- 機器内に入った場合、火災や感電の原因になります。

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない

- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

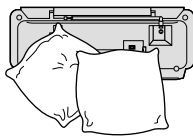
分解、改造したりしない

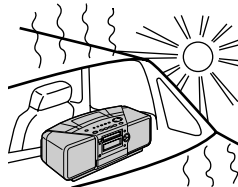
分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

⚠注意

設置・接続について

放熱を妨げない

- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。
  後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

不安定な場所に設置しない

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

電池について（リモコンのみ）

電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は誤った使い方をしない

- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として、充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

安全上のご注意

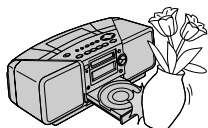
⚠注意

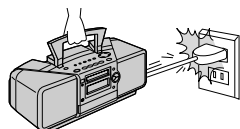
ご使用について

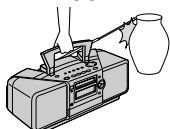
CD 挿入口の奥には手を入れない

指に注意

- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器の前にものを置かない

- CD 挿入部が開いたとき、ものに当たって倒れたりして、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない

- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

- 破損して、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

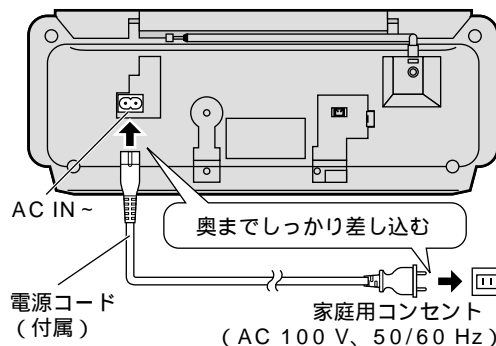
ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

準備をする

電源の準備

本機の電源はAC100 V、50/60 Hzです。電池では使えません。

本機後面

電源コードは奥まで、しっかりと差し込んでください。

下記の保持期間を越えて、停電したり電源プラグをコンセントから抜いておくと、メモリー内容は消えます。メモリー内容が消えたときは、再び設定してください。

メモリー内容を消したくない場合は、電源オフ時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。

（電源オフ時の消費電力：約 0.7 W）

メモリーの保持について

電源プラグを 3 分間以上、コンセントに差し込んでいれば、停電したり、電源プラグをコンセントから抜いても、次のように、設定したメモリー内容を保持します。

● 約 74 分間、保持する項目

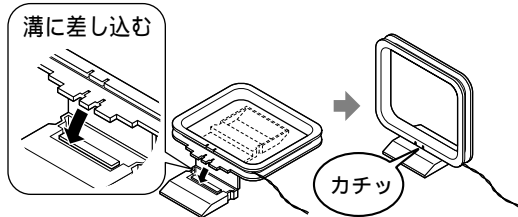
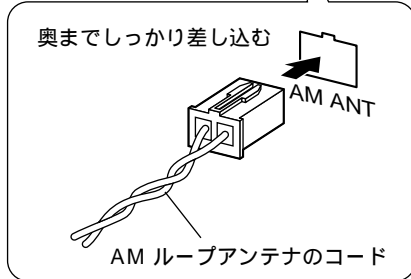
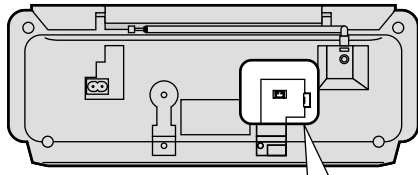
- 現在時刻
- タイマー設定（時刻以外の内容）

● 約 1週間、保持する項目

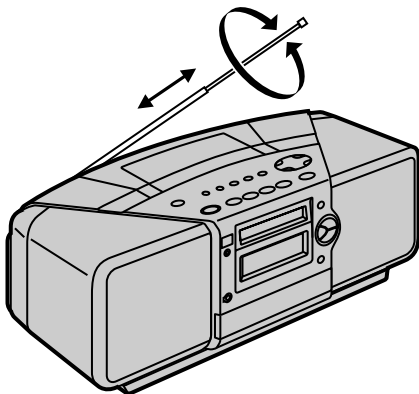
- タイマー設定（時刻）
- 放送局の設定（エリアバンク）
- 放送局の設定（マニュアルメモリー）
- MD、CD のプログラム内容
- デモ機能の設定
- カラーモードの設定
- 音質の設定、など

アンテナの接続と調整

AM ループアンテナ（付属）の接続と調整

1　アンテナを組み立てる

2　本機後面に接続する

3　放送局を受信してみて（⇨15ページ）、**雑音が少ない位置と角度にAM ループアンテナを調整する。**

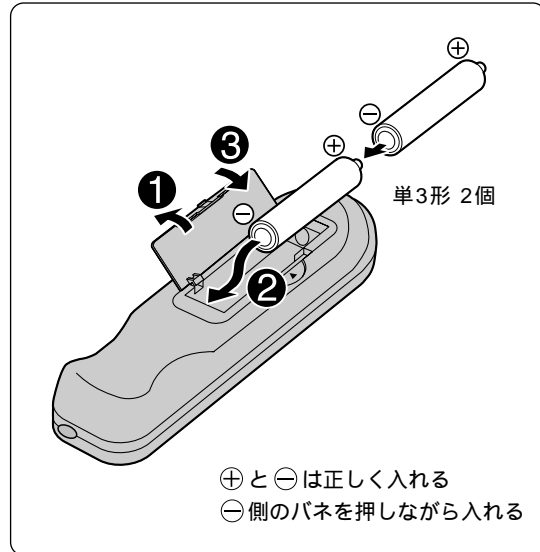
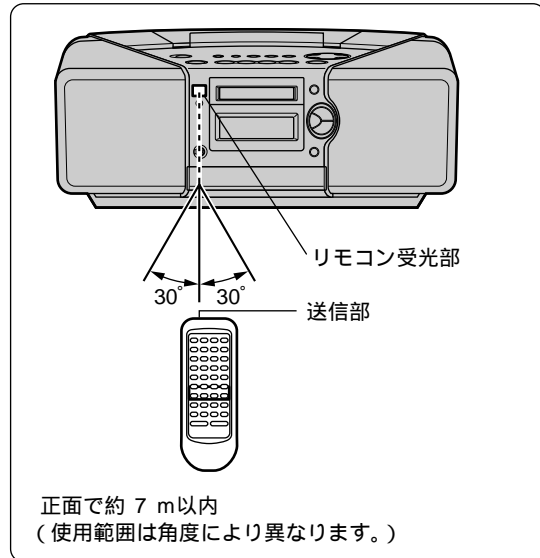
FM ホイップアンテナの調整

長さと向きを調整する。

リモコンの準備

乾電池（付属）を入れる

● ⊕と⊖は正しく入れる
● ⊖側のバネを押しながら入れる

リモコンの使いかた

正面で約 7 m以内
（使用範囲は角度により異なります。）

正しく送信するために

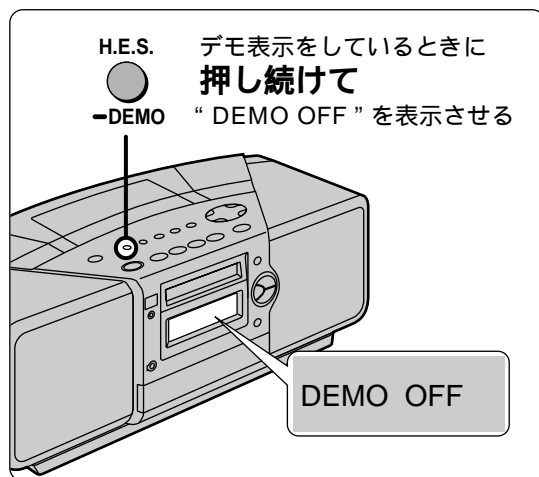
- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意する。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。

リモコンの故障防止のために

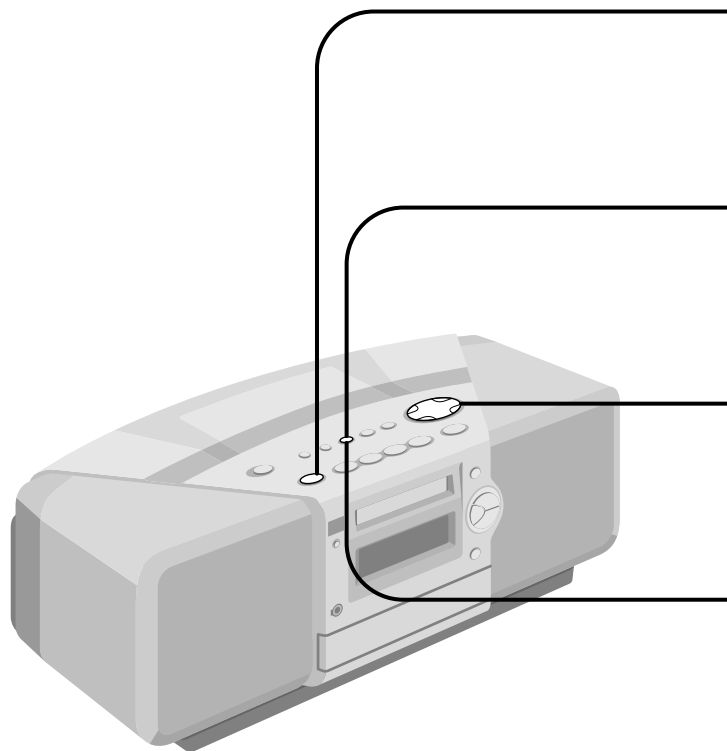
- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなどの液状のものをこぼさない。

電源「切」時の 表示について デモ機能

電源コードをつなぐと、電源「切」の状態でもディスプレイ表示が自動的に点灯し、次々と変化するのをお楽しみいただけます。これを**「デモ**（デモンストレーション）**機能」**と呼びます。
・お買い上げ時の設定は「入」です。

■デモ機能を「切」にするには

お願い

・電源プラグを約1週間以上、抜いておくと
　デモ機能「入」に戻ります。
　もう一度、上記の操作で「切」にしてください。

時計を合わせる（24時間表示）

表示部の色(カラーモード)について

表示部の色を変えて楽しむことができます。
次の3種類のモードがあります。

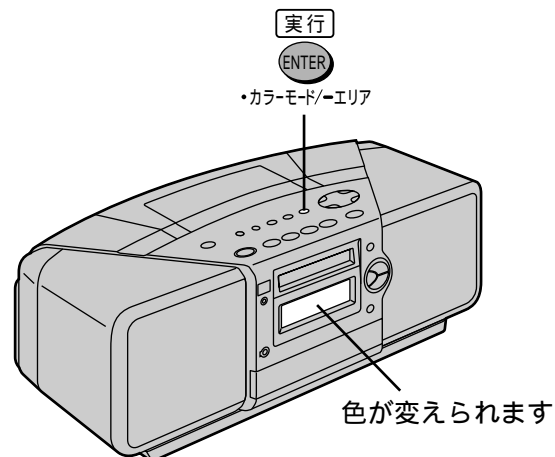
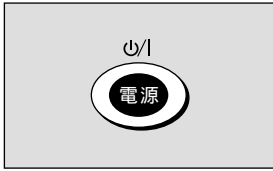
●ファンクションカラーモード
　ファンクション（⇨ 9ページ）に応じて色が変わります。

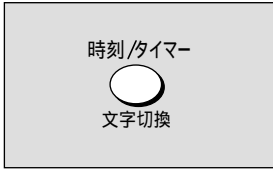
●マニュアルカラーモード
　10色の中からお好みの色を選べます。
　選んだ色はファンクションを変えても一定です。

●ランダムカラーモード
　約 1 分ごとに自動的に、色をランダム（10色）に変えます。

お知らせ
表示部の色は、周囲の明るさや室内照明の色によって、色調が変わって見えることがあります。

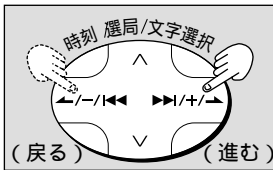
例）10時03分に合わせる。

1

押して
電源を入れる

2

押して
“CLOCK --:--”を選ぶ

CLOCK --:--

押すたびに“CLOCK --:--”→“0:00”→“0:00”
元の表示

3

10 秒以内に
左または右を押して
時刻を合わせる
時間、分を同時に合わせます。

CLOCK 10:03

4

押して
時計をスタートさせる
時報などに合わせて押してください。

CLOCK 10:03

約 1 秒で元の表示に戻る

■時計を表示させるには

電源「入」時は **押す**（約 10 秒間表示）

・長時間表示させるには、リモコンの［**表示切換**］を押して（必要に応じて数回）“CLOCK”を選ぶ。
・電源「切」時は、時計を合わせていれば、時計表示をします。

お知らせ
• 74 分以内の停電をした場合、停電復帰時に時計表示全体が点滅します。この点滅は一度電源を入れると解除されます。
→ 時刻が合っていることを確認してください。
• 時計を合わせると、デモ機能は自動的に「切」になります。ただし、現在時刻のメモリーが消える（⇨ 6ページ）とデモ機能「入」に戻ります。

カラーモード、色の選びかた
［・カラーモード／ーエリア］をポンポンと押して、カラーモードや色を選びます。

- **・ファンクション カラーモード（FUNCTION COLOR）**
- ↓ ・赤（RED）
- ↓ ・橙（ORANGE）
- ↓ ・黄緑（OLIVE GREEN）
- ↓ ・緑（GREEN）
- ↓ ・ミント（MINT）
- ↓ ・水色（LIGHT BLUE）
- ↓ ・青（BLUE）
- ↓ ・紫（PURPLE）
- ↓ ・ピンク（PINK）
- ↓ ・グレー（GRAY）
- ↓ **・ランダム カラーモード（RANDOM COLOR）**

（赤〜グレー：**マニュアル カラーモード**）

（ファンクション）	（色）
MD 停止	緑
MD 演奏、一時停止	ミント
CD 停止	青
CD 演奏、一時停止	水色
ラジオ	黄緑
AUX/P-MD	紫
録音、一時停止	赤

ます

MDを聞く

時刻/選局/文字選択

キャンセル

CD/MD ■

H.E.S.

–DEMO

MD

オートオフ

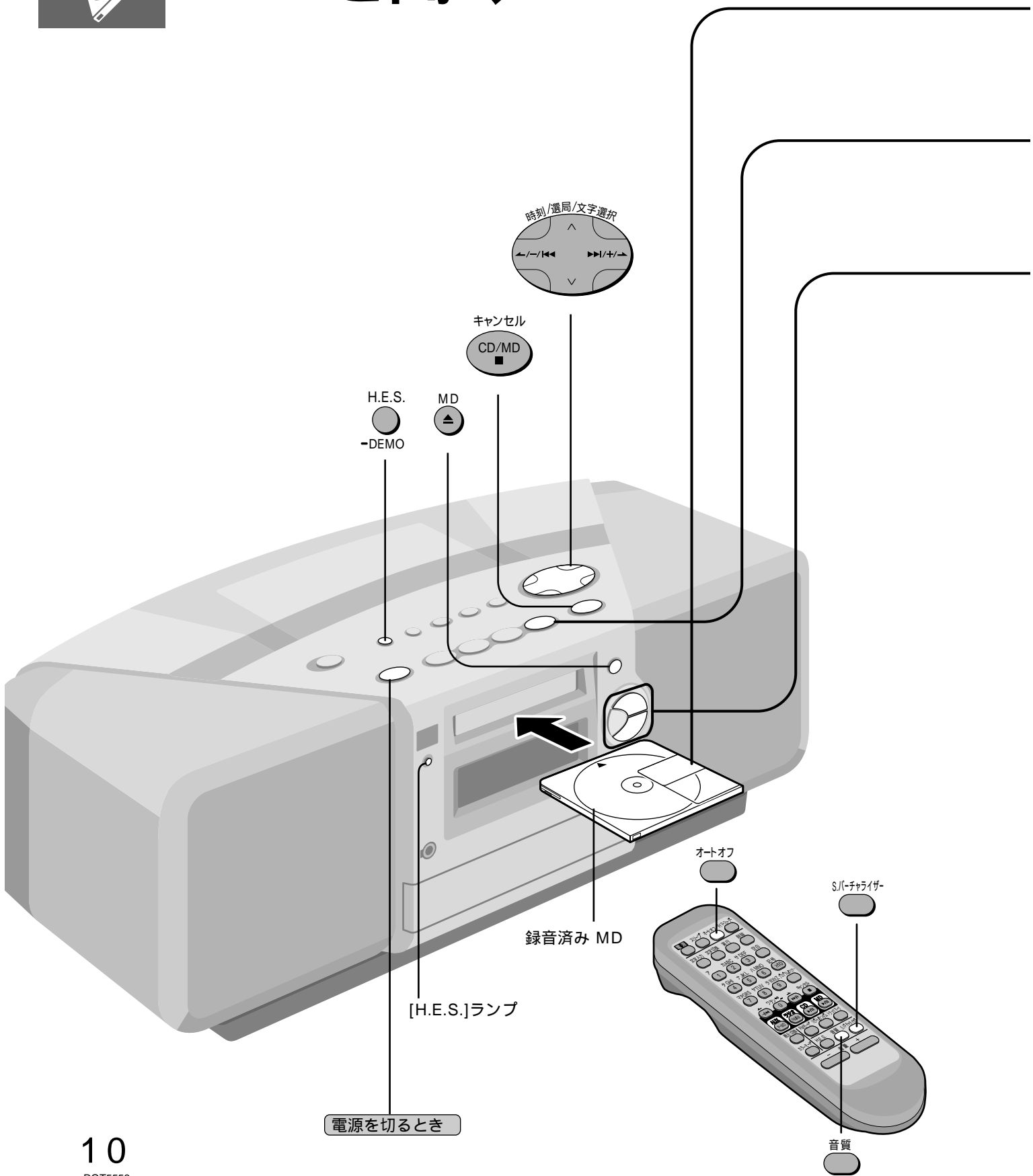
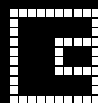
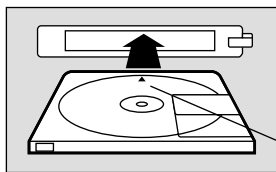
S.バーチャライザー

録音済み MD

[H.E.S.]ランプ

電源を切るとき

音質

MDを聞く

1
録音済み MD を入れる

MD を押し込むと電源が入り、MD が自動的に引き込まれます。

▲の向きに入れる

MD を入れると点滅（約 5 秒間）→点灯

2

押して
演奏を始める

MD SP
MD 1 1:54

演奏中の曲番
演奏経過時間

3

押して
音量を調整する

（大）（小）

VOL 20
0（最小） 50（最大）

■演奏を止めるには ⇨ キャンセル CD/MD ■ **押す**

MD
MD 14 68:25
総曲数
総演奏時間

■MD を取り出すには ⇨ MD ⏏ **押す**

■一時停止するには ⇨ ▶/II MD **押す**
（演奏に戻るには、もう一度押す。）

■前後の曲にとぶには
（スキップ）
⇨
（戻る）（進む）
左または右を**ポンポンと押す**

■早戻し／早送りするには
（サーチ）
⇨ （戻る）（進む）
左または右を**演奏中に押し続ける**

■好みの音質を選ぶには
リモコンのみ

⇨ 4 種類の音質が選べます。

音質 **押す**

EQ
HEAVY

押すたびに右のように切り換わります。

HEAVY ：ロックなど、パンチを効かせるとき
CLEAR ：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
SOFT ：BGMとして聞くとき
VOCAL ：ボーカルにつやを出したいとき
EQ-OFF ：音質効果を使わないとき

■立体的な音場効果を楽しむには リモコンのみ
（ステレオ音声のみ）

⇨ S.バーチャライザー **押す**
（もう一度押すと解除）

S.V. ON

■さらに高音質で楽しむには

H.E.S.
(HARMONIC ENHANCER SOUND)（ハーモニック エンハンサー サウンド）

⇨ H.E.S. -DEMO **押す**
（もう一度押すと解除）

H.E.S. ON

中高域の位相を補正することにより、分離のよい音が楽しめます。
機能しているときには、［H.E.S.］ランプが点灯します。

■演奏終了後などに、自動的に電源「切」にするには リモコンのみ

⇨ オートオフ **押す**（もう一度押すと解除）

演奏を止めた状態、ディスクが入っていない状態で約10分間、操作をしないと自動的に電源「切」になります。（MD と CD の場合のみ）

お知らせ

- すでにMD が入っているときは、手順**2**から行うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）
- ステレオ録音した曲を演奏すると“ SP ”が点灯し、長時間（モノラル）録音した曲を演奏すると、“ LP ”が点灯します。（⇨ 24ページ）
- S.バーチャライザー、H.E.S.の効果は、音楽によって異なります。

CDを聞く

時刻/選局/文字選択

∧

◀◀/−/|◀◀ ▶▶|/+/▶▶

∨

キャンセル

CD/MD

■

H.E.S.

−DEMO

CDトレイ

ラベル面

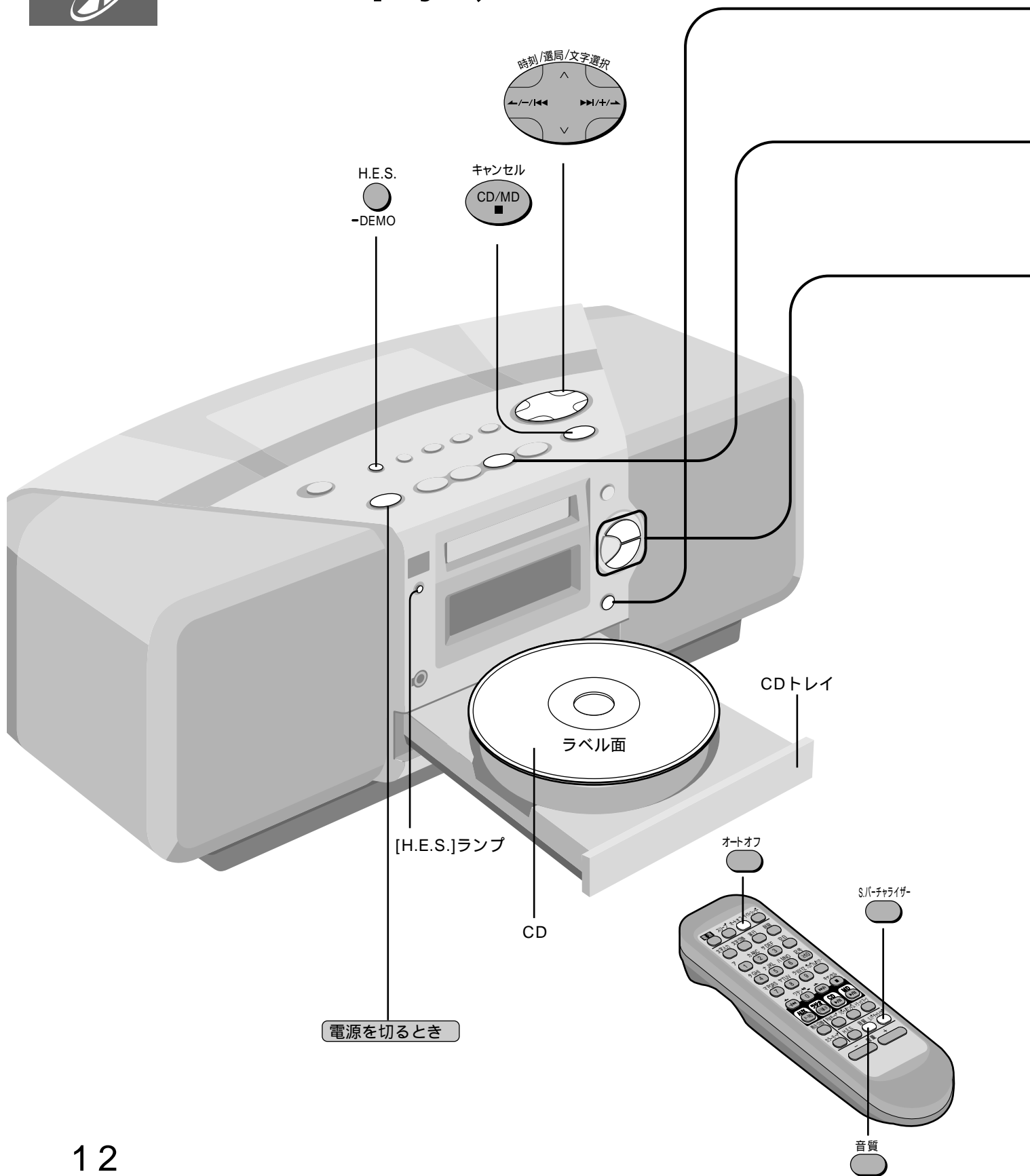
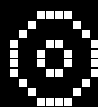
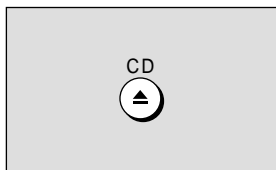
[H.E.S.]ランプ

CD

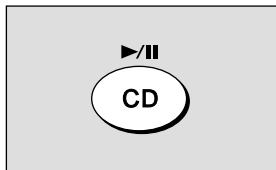
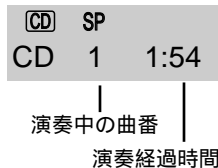
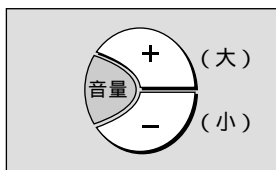
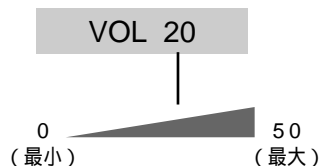
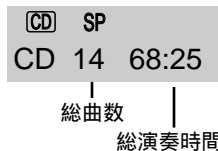
電源を切るとき

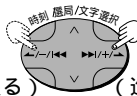
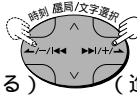
オートオフ

S.バーチャライザー

音質

1

押して CD トレイを開き
CD を入れる

- 押すと電源が入りトレイが開きます。
- もう一度押すとトレイが閉まります。

2

押して
演奏を始める

3

押して
音量を調整する

■演奏を止めるには ⇨ **押す**

■CD を取り出すには ⇨ **押す**

■一時停止するには ⇨ **押す**
（演奏に戻るには、もう一度押す。）

■前後の曲にとぶには
（スキップ）
⇨ 左または右を**ポンポンと押す**
（戻る）（進む）

■早戻し／早送りするには
（サーチ）
⇨ 左または右を**演奏中に押し続ける**
（戻る）（進む）

■好みの音質を選ぶには リモコンのみ

⇨ 4 種類の音質が選べます。

 押す

押すたびに右のように切り換わります。

HEAVY：ロックなど、パンチを効かせるとき
CLEAR：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
SOFT：BGMとして聞くとき
VOCAL：ボーカルにつやを出したいとき
EQ-OFF：音質効果を使わないとき

■立体的な音場効果を楽しむには リモコンのみ
（ステレオ音声のみ）

⇨ S.バーチャライザー **押す**
（もう一度押すと解除）

S.V. ON

■さらに高音質で楽しむには

⇨ H.E.S. －DEMO **押す**
（もう一度押すと解除）

H.E.S. ON

H.E.S.
(HARMONIC ENHANCER SOUND)（ハーモニック エンハンサー サウンド）

中高域の位相を補正することにより、分離のよい音が楽しめます。
機能しているときには、［H.E.S.］ランプが点灯します。

■演奏終了後などに、自動的に電源「切」にするには リモコンのみ

⇨   **押す**（もう一度押すと解除）

演奏を止めた状態、ディスクが入っていない状態で約10分間、操作をしないと自動的に電源「切」になります。（MD と CD の場合のみ）

お知らせ

- 手順**1** で CD トレイを閉めずに［►/II CD］を押した場合でも、トレイが自動的に閉まり、演奏が始まります。
- すでに CD が入っているときは、手順**2**から行うと自動的に電源が入り、演奏が始まります。（ワンタッチプレイ）
- S.バーチャライザー、H.E.S.の効果は、音楽によって異なります。

ラジオを聞く

H.E.S.
-DEMO

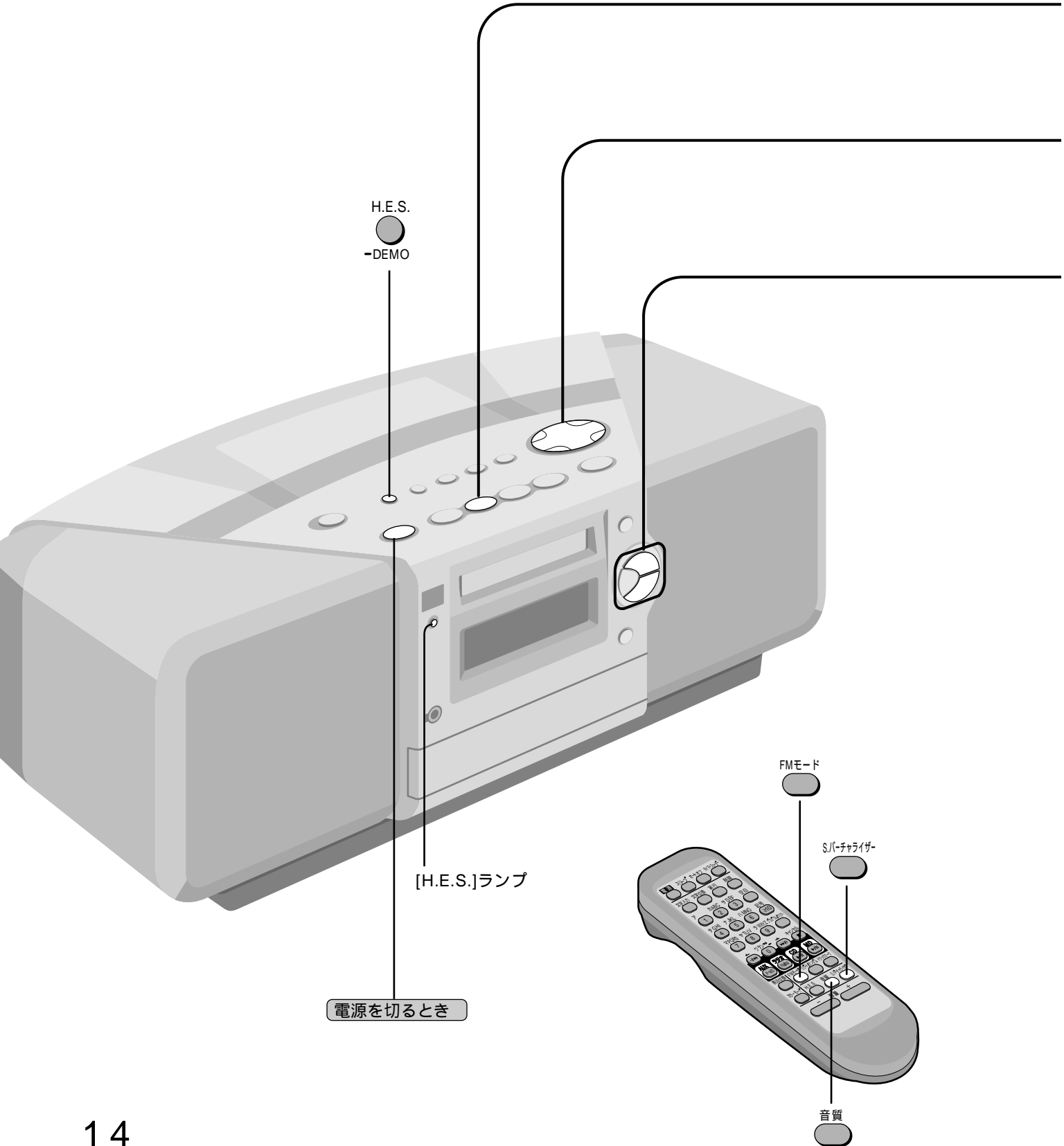
[H.E.S.]ランプ

電源を切るとき

FMモード

S.バーチャライザー

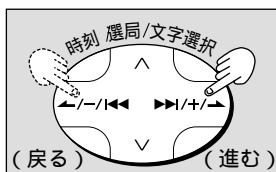
音質

準備：アンテナの接続と調整（⇨7ページ）

テレビ音声（1〜3 チャンネルのみ）は FM で受信します。

1

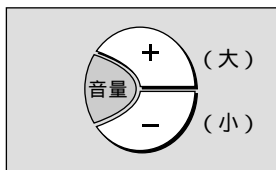
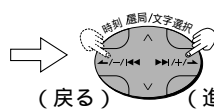
押して
FM または AM を選ぶ
電源が入り、“FM”または“AM”が点灯。

FM 76.0 MHz
押すたびに　FM ⇄ AM

2

ポンポンと左または右を押して
周波数を合わせる
テレビの受信位置は：
FM90.0→TV1 ch→TV2 ch→TV3 ch→FM76.0

FM 88.1 MHz
周波数

3

押して
音量を調整する

■自動選局するには
（オートチューニング）

周波数が動き始めるまで
左または右を**押し続け**、動き始めたら**離す**

AUTO TUNING

●初めに受信した放送局で周波数が自動停止します。

■FM ステレオで雑音が多いときは リモコンのみ

押す

（FM 76.0〜90 MHz受信時のみ）

●モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
●通常は“MONO”を消灯させておいてください。

“MONO”点灯
MONO
FM 88.1 MHz
（モノラル受信モード）

使いかた

■好みの音質を選ぶには
リモコンのみ

4 種類の音質が選べます。

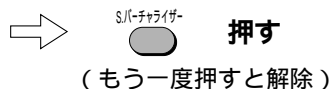
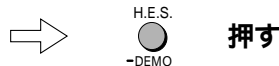
押す

EQ
HEAVY

押すたびに右のように切り換わります。

HEAVY　：ロックなど、パンチを効かせるとき
CLEAR　：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
SOFT　：BGMとして聞くとき
VOCAL　：ボーカルにつやを出したいとき
EQ-OFF　：音質効果を使わないとき

■立体的な音場効果を楽しむには リモコンのみ
（ステレオ音声のみ）

押す
（もう一度押すと解除）

S.V. ON

■さらに高音質で楽しむには

押す
（もう一度押すと解除）

H.E.S. ON

H.E.S.
（HARMONIC ENHANCER SOUND）（ハーモニック エンハンサー サウンド）

中高域の位相を補正することにより、分離のよい音が楽しめます。
機能しているときには、［H.E.S.］ランプが点灯します。

お知らせ

●AM とテレビの音声はモノラルになります。
●受信しにくいときは、窓際などに設置して、アンテナの向き、長さを調整してください。（⇨ 7ページ）
●S.バーチャライザー、H.E.S.の効果は、音楽によって異なります。
●放送局を記憶させて聞くことをおすすめします。（⇨ 20ページ）

本機のTV 受信回路について
FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに FM が混信することがあります。

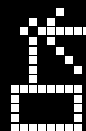
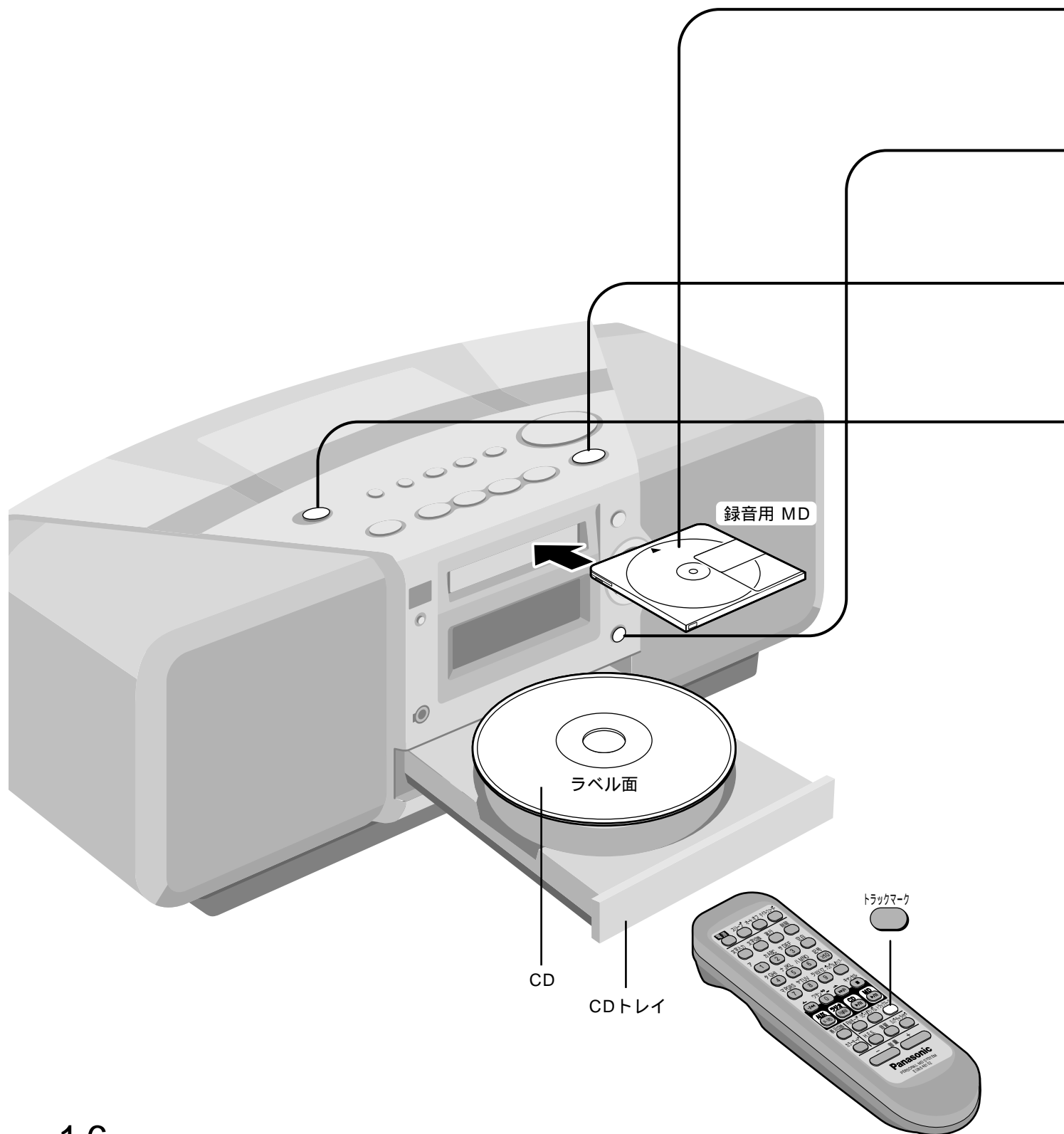
CDをMDに録音する

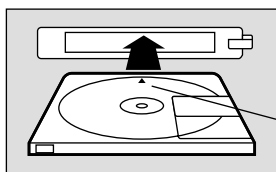
録音用 MD

ラベル面

CD

CDトレイ

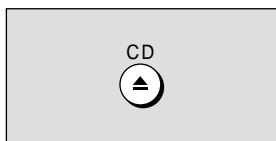
トラックマーク

- はじめて MD を使用する場合は、38ページ「MD について」をお読みください。
- CD から MD へは、デジタルで録音されます。

1

録音用 MD を入れる

▲の向きに入れる

MD を入れると
点滅（約 5 秒間）→点灯

MD
TOC Reading

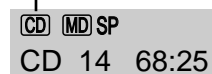
2

押して CD トレイを開き
CD を入れる
もう一度押して、トレイを閉める。

3

押して
CD に切り換える

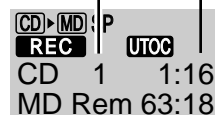
– – – – C D – – –

CD を読み込むと点灯

CD MD SP
CD 14 68:25

4

押す
CD の再生と MD への録音が同時に始まり、録音が終わると停止。

CD の曲番　演奏時間

CD▸MD SP
REC UTOC
CD 1 1:16
MD Rem 63:18

MD の残り時間

■録音を途中で止めるには

押す

UTOC
UTOC Writing

“ UTOC Writing ”が点滅し、消えたあと録音停止。

■一時停止するには

録音
–高速 CD→ MD

押す（トラックマークが1つ付く）

録音に戻るには、もう一度押す。

- 一時停止すると、録音された音がとぎれることがあります。

■好みの位置にトラックマークを付けるには

リモコンのみ

録音しながら、トラックマークを付けたい位置で

押す

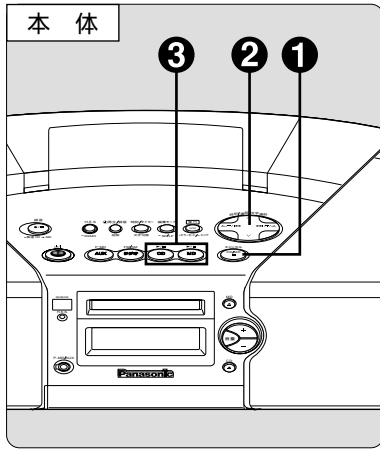
TR-MARKING

- トラックマークとは、録音部分に記録される「区切り」のことです。（⇨ 38ページ）
- トラックマークを消すには、前後の2曲を1曲にまとめます。（⇨ 26ページ）
- オート CD 録音（⇨ 22ページ）中は、好みの位置にトラックマークを付けることはできません。

お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されます。音量や音質を変えても、録音には影響しません。

MD／CD の聞きかた

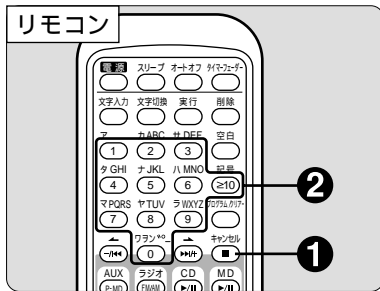
好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）

選んだ曲から最後の曲までを演奏した後、停止します。

❶ キャンセル CD/MD ■ **押して、CD または MD に切り換える**

❷ 時刻 選局/文字選択 左または右を**押して、曲番を選ぶ**

❸ ►/II CD または ►/II MD **押す**

8　1:54

選んだ曲から演奏が始まる。
（演奏中に選ぶこともできます）

❶ キャンセル ■ **押して、CD または MD に切り換える**

❷ **押して、曲番を選ぶ**

（数字ボタン）

8　1:54

選んだ曲から演奏が始まる。
（演奏中に選ぶこともできます）

■数字ボタンで10以上の曲番を選ぶには

（例）●10〜99

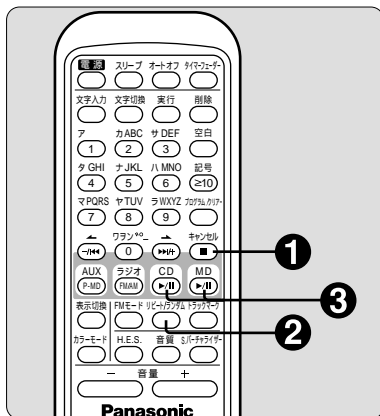
曲番10： ≧10 → 1 → 0

曲番25： ≧10 → 2 → 5

●100〜（MD のみ）

曲番100： ≧10 → ≧10 → 1 → 0 → 0

曲番235： ≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

リモコンのみ 順不同に聞く（ランダムプレイ）

各曲を1曲ずつ順不同に演奏した後、停止します。

❶ キャンセル ■ **押して、CD または MD に切り換える**

停止中に

❷ リピート/ランダム **押して、RANDOM を選ぶ**

押すたびに

1-⟲ → ⟲ → **RANDOM**

↑——消灯←——

RANDOM
RANDOM

❸ CD ►/II または MD ►/II **押す**

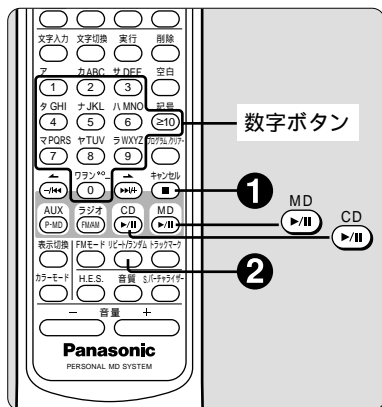
■解除するには

停止中に［**リピート/ランダム**］を押して、“RANDOM”表示を消す。

●ディスクを取り出した場合も解除されます。

お知らせ

●スキップで前の曲には戻りません。
●サーチは、演奏中の曲内のみです。
●プログラムプレイと同時にはできません。

リモコンのみ 繰り返し聞く（リピートプレイ）

1曲リピート、全曲リピートの2種類があります。

❶ キャンセル［■］ **押して、CD または MD に切り換える**

演奏前または演奏中に

❷ リピート/ランダム **押して、1-⭮ または ⭮ を選ぶ**

押すたびに　演奏中は選べません

1-⭮（1曲）→ ⭮（全曲）→（RANDOM）

消灯

1-⭮
TRACK REPEAT

演奏前のときは
- 1曲リピート：数字ボタンを押して、曲番を選ぶ
- 全曲リピート： CD［▶/II］ または MD［▶/II］ 押す

■解除するには

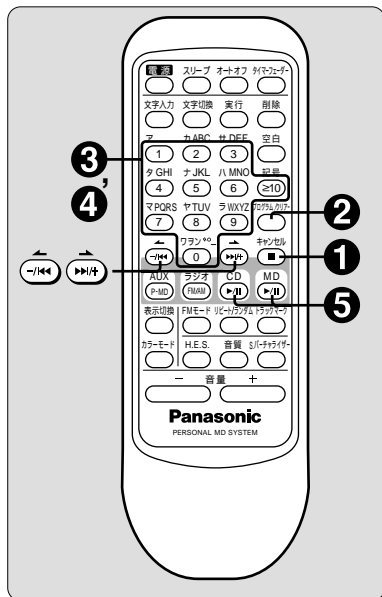
[リピート/ランダム] を押して、“ 1-⭮ ” “ ⭮ ”を消す。

●ディスクを取り出した場合も解除されます。

■好みの数曲を繰り返すには

① プログラムプレイで演奏を始める。

② **[リピート/ランダム]** を押して、“ ⭮ ”を選ぶ。

リモコンのみ 予約して聞く（プログラムプレイ）

好みの曲を好みの順に演奏します。最大24曲まで予約できます。

❶ キャンセル［■］ **押して、CD または MD に切り換える**

停止中に

❷ プログラム/クリアー **押す**

PGM
PROGRAM

❸ **押して、曲番を選ぶ**

（数字ボタン）

PGM
8　－－01
曲番　演奏順

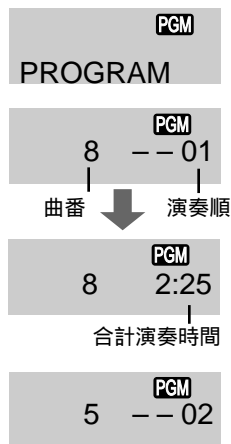
PGM
8　2:25
合計演奏時間

❹ **続けて曲番を選ぶ**

（最大24曲まで）

（数字ボタン）

PGM
5　－－02

❺ CD［▶/II］ または MD［▶/II］ **押す**

■予約を確認するには

停止中に、[⏮] または [⏭] を押す。

曲番と予約順が順次表示されます。

■予約を追加するには

“ PROGRAM ” 表示のときに、リモコンの数字ボタンで曲番を選ぶ。

■予約の途中で

- **“ PROGRAM FULL ” と表示されたら**
  これ以上の予約はできません。
- **“ - - : - - ” と表示されたら**
  予約曲の合計が250分を超えたことを示しています。
  予約は引き続き行えます。

お知らせ

CD のサーチは、演奏中の曲内のみです。

■解除するには

停止中に、リモコンの **［プログラム／クリヤー］** を押す。

“ PGM CLEAR ”が表示され、予約内容も取り消されます。

●ディスクを取り出した場合も解除されます。

■数字ボタンで10以上の曲番を選ぶには

（例） ●10～99

曲番25： ≧10 → 2 → 5

●100～（MD のみ）

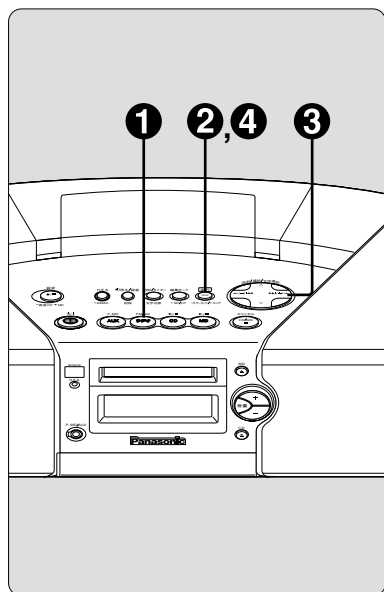
曲番235： ≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

放送局を記憶させて聞く

準備：アンテナの接続と調整（⇨7ページ）

記憶させる

●チャンネルに放送局を記憶させておくと、簡単な操作で聞けます。
● FM、AM とも12局ずつ記憶できます。

お住まいの地域を指定する（エリアバンク）

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM 放送局を1度で記憶できます。

❶ FM/AM ラジオ **押す**

－－－RADIO－－

FM または AM、どちらになっていても設定できます。

❷

右の表示が出るまで
押し続ける

PGM
>11 トウキョウケン

❸

上または下を**押して、**
エリア番号を選ぶ
（下表参照）

PGM
> 1 サッポロ

❹

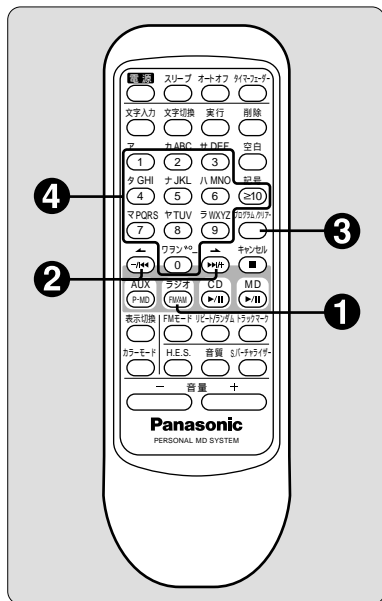
押す
放送局が記憶されます。

PGM
FM 80.4 MHz
AIR-G'

エリアに記憶されている最初の放送局名と周波数を表示。

エリアバンク（放送局の内容は、2000 年 4 月現在のものです。）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	11	東京圏（東京、横浜、千葉、浦和）	21	大津	31	松山
2	青森	12	甲府	22	奈良	32	高知
3	秋田	13	松本	23	和歌山	33	福岡
4	盛岡	14	静岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）	34	北九州
5	山形	15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	25	鳥取	35	佐賀
6	仙台	16	津	26	松江	36	長崎
7	福島	17	新潟	27	広島	37	大分
8	宇都宮	18	富山	28	山口	38	熊本
9	水戸	19	金沢	29	高松／岡山	39	宮崎
10	前橋	20	福井	30	徳島	40	鹿児島
						41	那覇

リモコンのみ 好みのチャンネルを指定する（マニュアルメモリー）

たとえば、エリアバンクで記憶したあとのあきチャンネルを埋めるときなどに行います。

❶ ラジオ FM/AM **押して、FM または AM を選ぶ**

押すたびに　FM ⇄ AM ── FM 76.0 MHz

❷ –/⏮ または ⏭/+ **ポンポンと押して好みの放送局を受信する**

（⇨ 15ページ）

FM 88.1 MHz

❸ プログラム/クリアー **押す**

PGM
FM 88.1 MHz
PROGRAM ch

10 秒以内に

❹ **押して、チャンネル番号を指定する**

（数字ボタン）

PGM
PROGRAM ch 7

お知らせ

FM をモノラル受信モード（⇨ 15ページ）で記憶させることはできません。

続けて入力する場合

❶～❹の動作をくり返してください。

■数字ボタンで10以上の数字を選ぶには

（例） 10ch： ≧10 → 1 → 0

12ch： ≧10 → 1 → 2

聞　く

●簡単な操作で受信できます。

記憶させた放送局を聞く

❶ FM/AM ラジオ **押して、FM または AM を選ぶ**

押すたびに　FM ⇄ AM ── FM 76.0 MHz

❷ 時刻 選局/文字選択 上または下を**押して、チャンネルを選ぶ**

PGM
ch 1

エリアバンクで記憶したチャンネルのときは、放送局名も表示します。

■リモコンで選ぶには

① **[ラジオ、FM/AM]**を押して、FM または AM を選ぶ。

② 数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

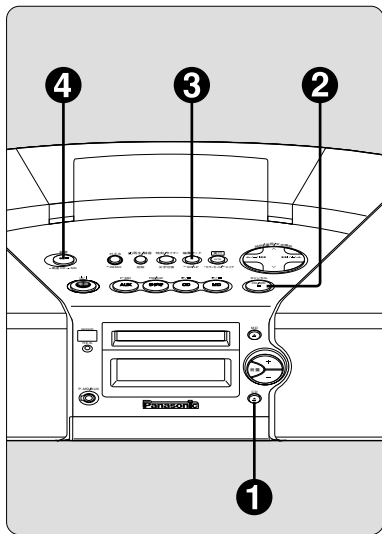
いろいろな録音

操作の前に
録音用 MD を本体に入れる。

CD の全曲を自動で録音する（CD まる録り：オートCD 録音）

❶ CD を入れる

❷ ［キャンセル CD/MD ■］押して CD に切り換える

――――CD―――

❸ ［編集モード −SP/LP］押して“ AUTO ”を選ぶ

押すたびに
“ AUTO ” ――→“ 1-REC ”
↑ 表示なし（OFF）←

AUTO
オートRECモード

AUTO
ゼンキョクRECカノウ

● 全曲入らないときは、録音できない曲番→録音曲数と順次表示します。
● 録音できない曲番を再確認するには、リモコンの［**表示切換**］を押してください。

❹ ［録音 ●/II −高速 CD→MD］押す

録音が始まり、終了すると停止。

CD▸MD SP
REC AUTO UTOC
CD 1 0:05
MD Rem 62:00

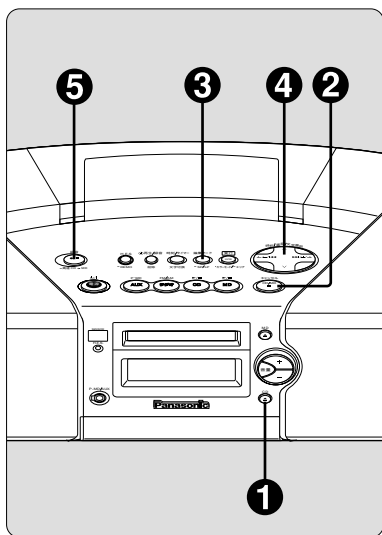
■録音を途中で止めるには：［■、CD/MD、キャンセル］を押す。

お知らせ
オートCD 録音中は、録音を一時停止させることはできません。また、好みの位置にトラックマークを付けることもできません。

CD の好みの1曲を録音する（CD 1曲ねらい録り）

❶ CD を入れる

❷ ［キャンセル CD/MD ■］押して CD に切り換える

――――CD―――

❸ ［編集モード −SP/LP］押して“ 1-REC ”を選ぶ

押すたびに
“ AUTO ” ――→“ **1-REC** ”
↑ 表示なし（OFF）←

1-REC
1キョクRECモード

❹ ［時刻 選局/文字選択］左または右を**押して、曲番を選ぶ**

1-REC
CD 14 3:33
曲番

❺ ［録音 ●/II −高速 CD→MD］押す

録音が始まり、終了すると停止。

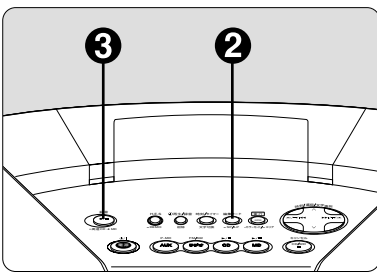
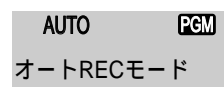
CD▸MD SP
REC 1-REC UTOC
CD 14 0:05
MD Rem 60:00

■録音を途中で止めるには：［■、CD/MD、キャンセル］を押す。

■演奏中の CD を録音するには（おっかけ録音）：演奏中に［**●/II 録音**］を押す。
その曲の頭から最後の曲まで録音し、自動的に停止します。
CD を一時停止させてから、［**●/II 録音**］を押すと、その位置からの録音になります。

演奏中の1曲だけを録音するには
①［**編集モード**］を押し、“ 1-REC ”を選ぶ。
②［**●/II 録音**］を押す。

■録音を一時停止するには：［●/II 録音］を押す。（トラックマークが1つ付く）
録音に戻るには、もう一度押す。
・一時停止すると、録音された音がとぎれることがあります。

CD の好みの数曲を録音する（プログラム録音）

❶ CD の曲をプログラムする
（⇨ 19 ページ「プログラムプレイ」の❶〜❹）

❷ 編集モード −SP/LP **押しで“ AUTO ”を選ぶ**

AUTO PGM
オートRECモード

AUTO PGM
ゼンキョクRECカノウ

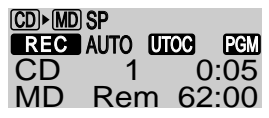
- 全曲入らないときは、録音できない曲番→録音曲数と順次表示します。
- 録音できない曲番を再確認するには、リモコンの［**表示切換**］を押してください。

❸ 録音 −高速 CD→MD **押す**

録音が始まり、終了すると停止。

CD▸MD SP
REC AUTO UTOC PGM
CD 1 0:05
MD Rem 62:00

お知らせ

プログラム録音では曲と曲のあきが少し多くなります。従って、“ゼンキョクREC カノウ”と表示されても、MD の残り時間が少ない場合は全曲録音できないことがあります。

■録音を途中で止めるには：［■、CD/MD、キャンセル］を押す。

CD を高速（2倍速）で録音する（CD 高速録音）

❶ CD **CD を入れる**

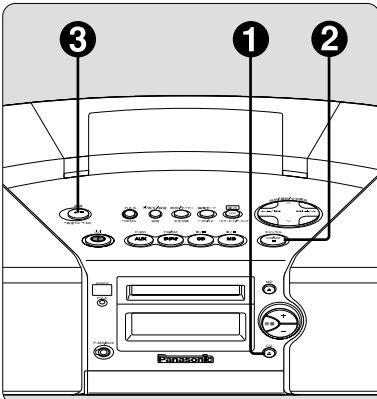
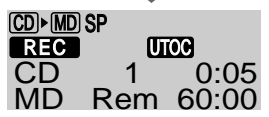
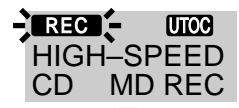
❷ キャンセル CD/MD ■ **押して CD に切り換える**

−−−−CD−−−

❸ 録音 −高速 CD→MD 右の表示になるまで **押し続ける**

REC UTOC
HIGH–SPEED
CD→→MD REC

1曲目から録音が始まり、
終了すると停止。

CD▸MD SP
REC UTOC
CD 1 0:05
MD Rem 60:00

お知らせ

- 高速録音も通常の録音も、音質は同等です。（ CD から MD へは、デジタルで録音されます。）
- 長時間（モノラル）モード：LP（⇨ 24ページ）でも、高速録音をすることができます。
- ラジオ、[P-MD/AUX] 端子に接続した外部機器など、本機の CD 以外からの高速録音はできません。

■高速録音のできるモード

モード	可否
通常の録音（ ⇨17ページ）	○
CD まる録り	○
CD 1曲ねらい録り	○
おっかけ録音	×
プログラム録音	×
リピート設定時の録音	×
ランダム設定時の録音	×

CD を高速録音するときの制限

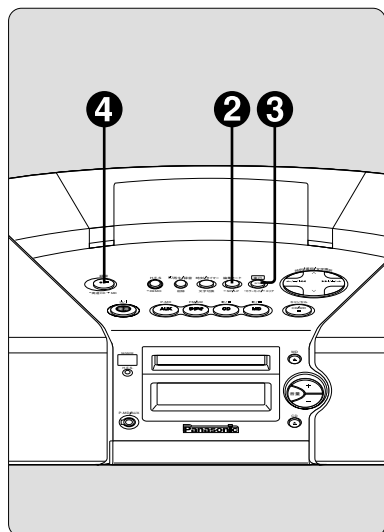
著作権保護などのために、次のような制限があります。

- 高速録音終了後、約74分間は、同じ CD からの高速録音はできません。
- 高速録音を途中で止めた後、約74分間は、同じ CD からの高速録音はできません。
- 1枚目の CD を高速録音した後、約74分以内に、それぞれ異なる24枚の CD を高速録音できますが、25枚目の高速録音はできません。
- メモリーをリセット（初期化）（⇨ 43ページ）すると、約74分間は、高速録音できません。
- 高速録音中のモニター音は“ VOL 30 ”より大きくはできません。
- 高速録音中は、好みの位置にトラックマークを付けることはできません。

■“ PLEASE WAIT ○○ min. ”と表示されたら
○○分、お待ちください。（上記参照）

■“ HIGH—SPEED CAN NOT REC ”と表示されたら
プログラム、リピート、ランダム、おっかけ録音の高速録音はできません。通常の録音をしてください。

■録音を途中で止めるには：［■、CD/MD、キャンセル］を押す。

ラジオを録音する

お知らせ

エリアバンクで記憶させた放送局を録音すると、放送局名がトラックタイトル（⇨28ページ）として記録されます。

1 ラジオ（またはテレビ）放送を受信する
（⇨15ページ）

FM 80.2 MHz

2 編集モード ‑SP/LP **押して、録音モードを選ぶ**

FM 80.2 MHz
MANUAL?

- MANUAL：普通に録音するとき
- ↓ TURN BACK：（下記参照）
- ↓ TIME MARK：5分おきに自動でトラックマークを付けるとき
- ↓ TURN/TIME：TURN BACK＋TIME MARK

3 実行 ENTER ・カラーモード/‑エリア **押す**

FM 80.2 MHz
元の表示

4 録音 ●/II ‑高速 CD→MD **押す**

（TURN BACK、TURN/TIMEの時はもう一度押す）

録音が始まる。

FM→→MD REC

REC UTOC
FM 80.2 MHz
MD Rem 57:35

頭切れしないように、数秒前の音から録音する（TURN BACK：ターンバック録音）

数秒前の音声データを本機に蓄えておくことにより、数秒前の音から録音することができます。ラジオ放送を録音するときに便利です。（ラジオ、AUX のときに使えます。）

（例）① **[ラジオ、FM/AM]** を押す。
② **[編集モード、‑SP/LP]** を押して“TURN BACK？”を選ぶ。
③ **[実行、ENTER]** を押す。
④ **[●/II 録音]** を押して、スタンバイ状態にする。（データ蓄積を開始します。）
⑤ 再度 **[●/II 録音]** を押す。（押した時点の数秒前の音から録音されます。）

お知らせ

長時間モード（下記参照）でもターンバック録音ができます。

■録音を途中で止めるには：［■、CD/MD、キャンセル］を押す。

長時間（モノラル）録音について

例えば 74分の MD に148分録音できる長時間（モノラル）モードがあります。
CD 、ラジオ、別売り機器の録音に使えます。

■モードを切り換えるには

録音操作の前に、MD モード以外にして、**［編集モード、‑SP/LP］**を押し続けます。

SP：普通の録音（ステレオ）
↕
LP：長時間録音（モノラル）

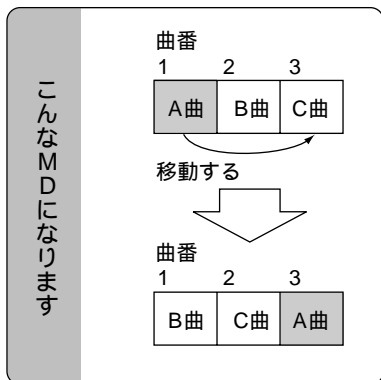
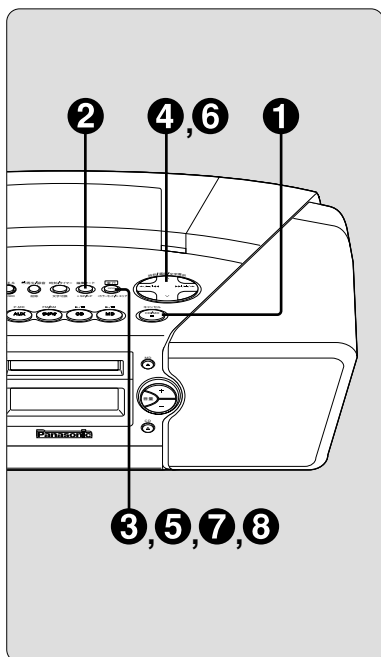
お知らせ

- 長時間（モノラル）モードでは、元の信号がステレオであれば、録音中のモニター音はステレオになりますが、モノラルで録音されます。
- 一度設定した録音モードは、次に切り換えるまで変わりません。
（MD 演奏時の“SP”、“LP”表示は、録音した時点のモードを表します。）

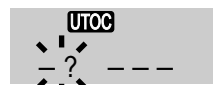
AM放送を録音するときはAMループアンテナと本体限り離して下さい。
近づけるとノイズが入ることがあります。

MD を編集する

録音後に曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除して、自分だけのオリジナルMD を作ることができます。(録音用 MD のみ)

曲を移動する(MOVE)

1. 押して MD に切り換える

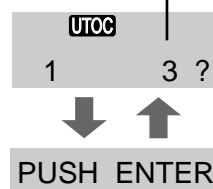
2. 押して、"MOVE ?"を選ぶ

3. 押す

4. 左または右を押して、移動する曲番を選ぶ

5. 押す

移動する曲番

6. 左または右を押して、移動先を選ぶ

移動先
(例：曲番 3 へ移動する場合)

7. 押す

8. 押す

"UTOC Writing" の点滅後、編集完了。

こんなMDになります

■編集を途中で止めるには：［■、CD/MD、キャンセル］を押す。

■演奏中(または一時停止中)に行うには
① 移動したい曲を演奏する。(または一時停止する。)
② ［編集モード、－SP/LP］を押して "MOVE" を選び、［実行、ENTER］を押す。
③ ［←/－/⏮］または［⏭/+/→］で移動先の曲番を選び、［実行、ENTER］を押す。
④ ［実行、ENTER］を押す。

お知らせ

以下の場合は MD の編集(MOVE、COMBINE、DIVIDE、TRACK ERASE、ALL ERASE)ができません。解除してください。
- MD が誤消去防止になっている場合。
- MD をランダム、プログラム設定している場合。

2曲を1曲にまとめる（COMBINE）

こんなMDになります

曲番 1 2 3

A曲	B曲	C曲

まとめる

曲番 1 2

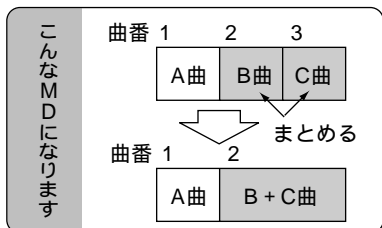
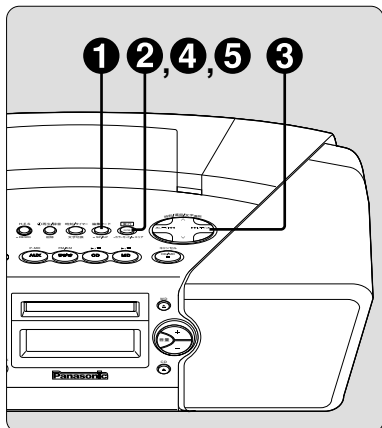
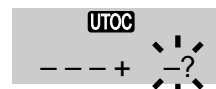
A曲	B＋C曲

MD モードの停止中に

❶ 編集モード −SP/LP **押して、**

“ COMBINE ? ”を選ぶ

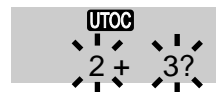
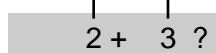
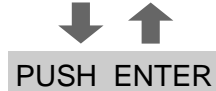
COMBINE?

❷ 実行 ENTER ・カラーモード/ーエリア **押す**

❸ 時刻 選局/文字選択 左または右を**押して、**

まとめようとする2曲の うしろの曲番を選ぶ

❹ 実行 ENTER ・カラーモード/ーエリア **押す**

PUSH ENTER

❺ 実行 ENTER ・カラーモード/ーエリア **押す**

“ UTOC Writing ”の点滅後、編集完了。
（トラックマークが、1つ消えます。）

■演奏中（または一時停止中）に行うには

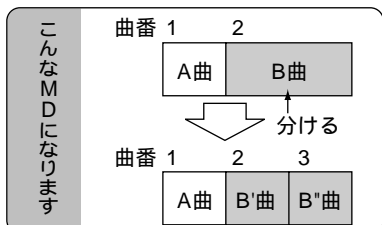
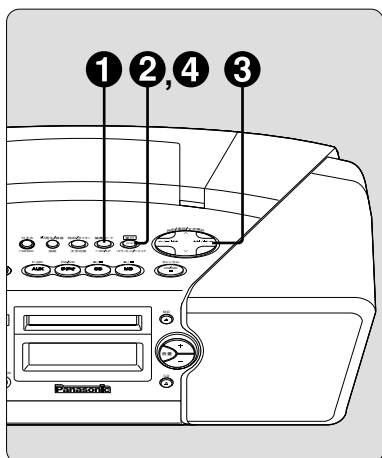
① まとめる後ろの曲を演奏する。
② [**編集モード**] を押して“ COMBINE ？ ”を選び、
　[**実行、ENTER**] を押す。
③ [**実行、ENTER**] を押す。

お知らせ

- 隣接した2曲のみ、まとめることができます。
- 通常録音と長時間録音の曲をまとめることはできません。
- タイトルが付いている2曲をまとめると、前の曲のタイトルになります。

1曲を2曲に分ける（DIVIDE）

MD の演奏中に

❶ 編集モード −SP/LP **押して、**

“ DIVIDE ? ”を選ぶ

DIVIDE?

❷ 実行 ENTER ・カラーモード/ーエリア **分けたい、およその位置で、押す**

分けた位置からの 4 秒間を繰り返し演奏します。
（モノラル録音では 8 秒間）

UTOC
DIVIDE

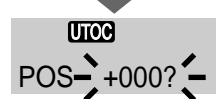
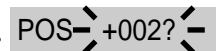
❸ 時刻 選局/文字選択 左または右を**押して、正確な位置を決める**

繰り返し演奏で、前の曲が入らない位置を選ぶ。
前後 8 秒で調整できます。
（モノラル録音では16 秒）

● 数値は−128 〜＋127の範囲で表示されます。

UTOC
POS− +000? −

POS− +002? −

❹ 実行 ENTER ・カラーモード/ーエリア **押す**

“ UTOC Writing ” の点滅後、編集完了。

- 分けた位置にトラックマークが付きます。
- タイトルが付いている曲を分けると、あとの曲はタイトルなしになります。

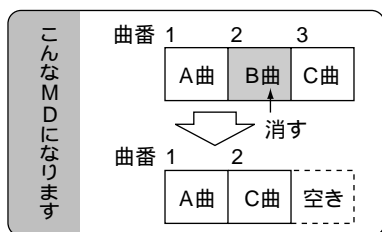
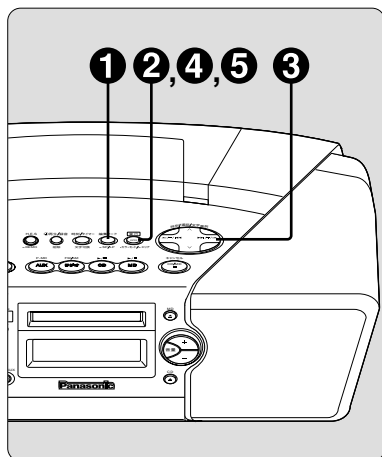
■編集を途中で止めるには：［■、CD/MD、キャンセル］を押す。

1曲または数曲を消す（TRACK ERASE）

こんなMDになります

曲番	1	2	3
	A曲	B曲	C曲

B曲 ↑ 消す

曲番	1	2	
	A曲	C曲	空き

MD モードの停止中に

❶ 編集モード（−SP/LP）押して、
"TRACK ERASE？"を選ぶ

TRACK ERASE?

❷ 実行（ENTER・カラーモード/−エリア）押す

UTOC
ERASE –?

❸

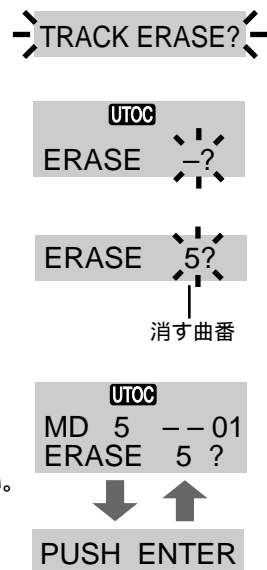
左または右を**押して、消す曲番を選ぶ**

ERASE 5?
消す曲番

❹ 実行（ENTER・カラーモード/−エリア）押す

UTOC
MD 5 – – 01
ERASE 5 ?
↓ ↑
PUSH ENTER

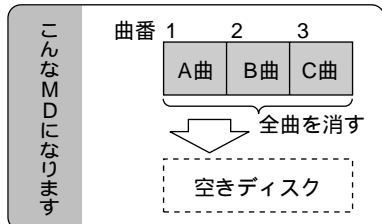
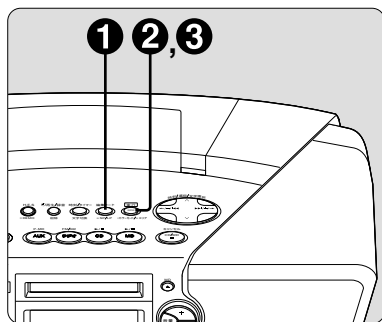
続けて入力する場合
❸～❹の操作をくり返してください。
（最大24 曲まで）

❺ 実行（ENTER・カラーモード/−エリア）押す

" UTOC Writing " の点滅後、編集完了。

■演奏中（または一時停止中）に行うには
① 消したい曲を演奏する。
② ［**編集モード**］を押して " TRACK ERASE ? " を選び、［**実行、ENTER**］を押す。
③ ［**実行、ENTER**］を押す。

■消す曲番を確認するには
最後の ［**実行、ENTER**］を押す前に、［**∧、∨、時刻/選局/文字選択**］を押して、" ERASE CHECK "モードにする。

■編集を途中で止めるには
［**■、CD/MD、キャンセル**］を押す。

全曲を消す（ALL ERASE）

MD モードの停止中に

❶ 編集モード（−SP/LP）押して、
"ALL ERASE？"を選ぶ

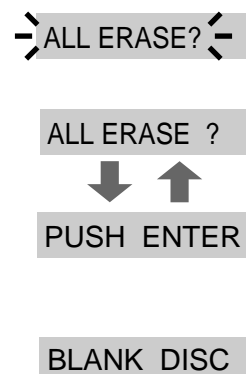
ALL ERASE?

❷ 実行（ENTER・カラーモード/−エリア）押す

ALL ERASE ?
↓ ↑
PUSH ENTER

❸

押す

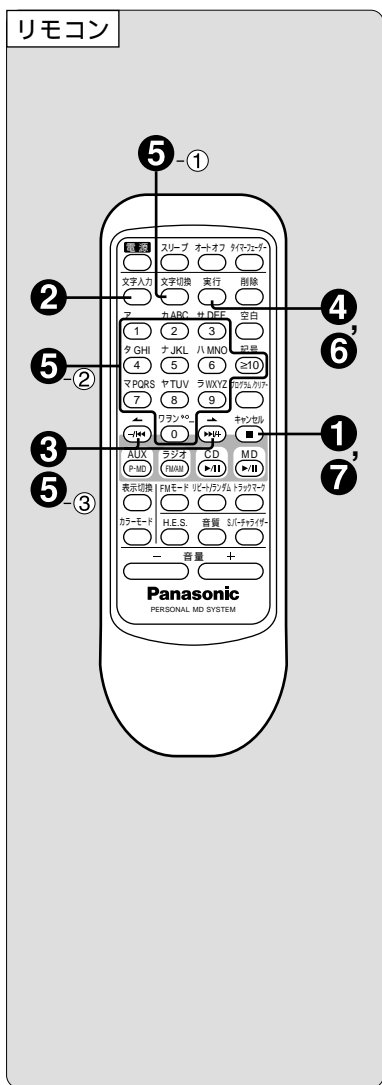
" UTOC Writing "の点滅後、編集完了。

お知らせ
演奏中に全曲を消すことはできません。

何も録音されていないことを意味しています。

■編集を途中で止めるには：［■、CD/MD、キャンセル］を押す。

MD にタイトルを付ける

録音用 MD には、アルバム名（ディスクタイトル）や曲名（トラックタイトル）が各100文字まで記録できます。（1枚の MD にはアルファベットで約1700文字、記録できます。）

録音済み MD にタイトルを入力する

❶ [キャンセル ■] 押して MD に切り換える

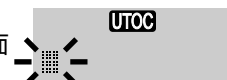
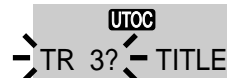
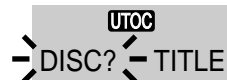
❷ [文字入力] 押す

❸ [−/⏮] [⏭/+] 押して、ディスク、または曲番を選ぶ

押すと DISC(ディスク)⟷TR1(曲番1)
---> TR3 ⟷ TR2 ⟵

❹ [実行] 押す

文字入力画面

❺ 文字を入力する

① ［文字切換］を押して、文字の種類を選ぶ
カナ「ア」→ 英大「A」→ 英小「a」→ 数字「1」

② ［数字ボタン］を押して、文字を選ぶ
- **カナ入力**………… 例えば［ア、1 ］を 押すごとに、
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ とかわります。
- **英大入力**………… 例えば［カ ABC、2 ］を 押すごとに、
A→B→C とかわります。
- **英小入力**………… 英大入力と同じ。
- **数字入力**………… ［ア、1 ］～［ワヲン゛゜ー、0 ］を押す。
- **記号入力**………… ［記号、≧10 ］を押す。

入力できる文字の一覧表を参照してください。（⇨ 31ページ）

③ ［ ⇀ 、⏭/+ ］を押して、選んだ文字を確定する
数字は押さなくても確定します。

❻ [実行] 押す　タイトルを確定

続けて入力する場合
❸～❻の動作をくり返してください。

❼ [キャンセル ■] 押して、タイトル入力完了

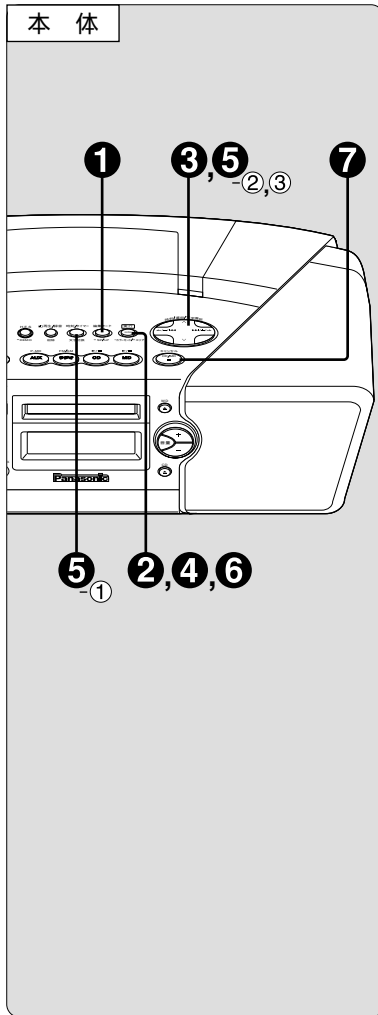
■**途中で中止するには：［■、キャンセル］**を押す。ただし、すでに［実行］を押して確定したタイトルは残ります。

■ MD の演奏、録音中にトラックタイトルをつけることもできます。

① リモコンの［文字入力］を押す。
　または本体の、［編集モード］を押して“ TITLE INPUT ? ”を選択し、［実行、ENTER］を押す。
② 曲のタイトルを入力する。
③ ［実行］を押す。

お知らせ

- 1回の演奏、録音中に入力できるタイトルの合計文字数は約1000文字までです。
- 演奏、録音が次の曲に移っても、タイトルが次の曲に付くことはありません。
- 演奏中にタイトルを付けると、つづきの演奏中は MD の編集（DIVIDE、MOVE、COMBINE、TRACK ERASE）はできません。MD を停止させてから編集してください。
- 濁点や半濁点は、表記可能なカタカナのうしろにだけ入力できます。
あり得ない表記の場合は、選択候補としても表れません。
- 文字と濁点・半濁点の間に空白などは挿入できません。

■本体で入力するには

MD モードの停止中に

❶ 編集モード [－SP/LP] **押して、**
“ TITLE INPUT ？”を選ぶ

TITLE INPUT?

❷ 実行 [ENTER] ・カラーモード/ーエリア **押す**

UTOC
DISC? TITLE

❸ 時刻 選局/文字選択 左または右を**押して、ディスクまたは曲番を選ぶ**

押すと DISC(ディスク)⟷TR1(曲番1)
--->TR3 ⟷ TR2 ←

UTOC
TR 3? TITLE

❹ 実行 [ENTER] ・カラーモード/ーエリア **押す**

文字入力画面

UTOC

❺ **文字を入力する**

①**［文字切換、時刻/タイマー］**を押して、文字の種類を選ぶ
カナ「ア」→ 英大「A」→ 英小「a」→ 数字「1」

②**［∧、∨、時刻/選局/文字選択］**を押して、文字を選ぶ
入力できる文字の一覧表を参照してください。（⇨ 31ページ）

③**［ ⏭/+/⇀ 、時刻/選局/文字選択］**を押して、選んだ文字を確定する

❻ 実行 [ENTER] ・カラーモード/ーエリア **押す**　タイトルを確定

UTOC
UTOC Writing

続けて入力する場合
❸～❻の動作をくり返してください。

❼ キャンセル [CD/MD ■] **押して、タイトル入力完了**

■途中で中止するには

［■、CD/MD、キャンセル］を押す。ただし、すでに**［実行、ENTER］**を押して確定したタイトルは残ります。

■入力済みの文字を変更するには

①**文字入力画面**にする（28ページ、または29ページの❶～❹）
②リモコンの［ ↼ 、−/⏮ ］、［ ⇀ 、⏭/+ ］で、変更する文字にカーソルを合わせる
　そのあと、次の操作を行い、**［実行］→［■、キャンセル］**を押します。

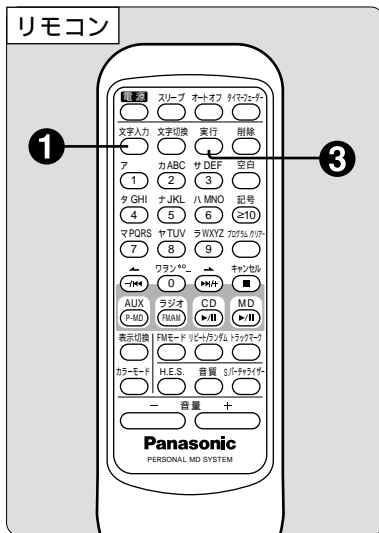
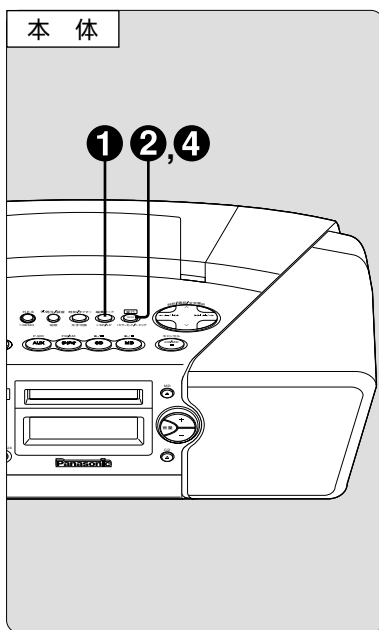
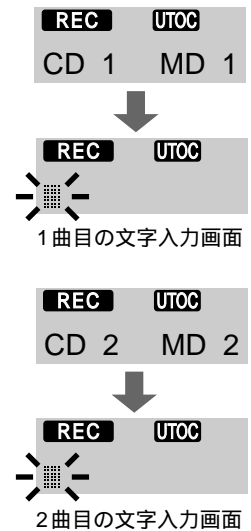
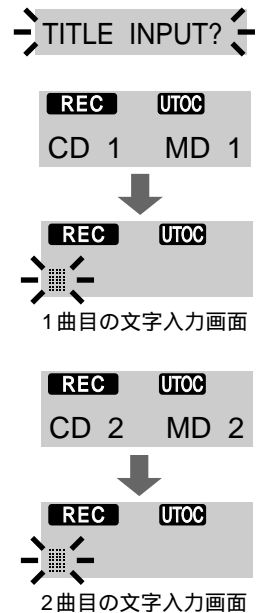
● **文字を訂正するには**
　文字入力（⇨ 28、または29ページ）で上書きする。

● **文字を削除するには**
・**リモコン操作**……**［削除］**を押す。
・**本体操作**…………**［⏲再生/録音、削除］**を押す。

● **1文字あけるには**（本体操作とリモコン操作は同じ結果になります。）
・**リモコン操作**……**［空白］**を押す。
・**本体操作**…………①**［∧、∨、時刻/選局/文字選択］**で“ ␣ ”（スペース）を表示する。
　　　　　　　　　②**［ ⏭/+/⇀ 、時刻/選局/文字選択］**で確定する。

● **文字を挿入するには**
・**リモコン操作**……① 挿入する位置に1文字あける（上記参照）
　　　　　　　　　② 文字を入力する（⇨ 28ページ）
・**本体操作**…………① 挿入する位置に1文字あける（上記参照）
　　　　　　　　　② 文字を入力する（⇨ 29ページ）

CD からの録音中は、タイトルをまとめて入力できますので、録音中の待ち時間を有効に使えます。
録音中であれば、どの曲でもタイトル入力ができます。

録音しながら、トラックタイトルをまとめて入力する

- 全曲の入力が終わるまで、❷、❸の操作をくり返します。
- 入力しなくても、［実行］を押せば次の曲へ進みます。
- 最後の曲で［実行］を押すと、“ TITLE WRITE ” と表示した後、録音の画面に戻ります。

- 全曲の入力が終わるまで、❸、❹の操作をくり返します。
- 入力しなくても、［実行、ENTER］を押せば次の曲へ進みます。
- 最後の曲で［実行、ENTER］を押すと、“ TITLE WRITE ” と表示した後、録音の画面に戻ります。

■途中で中止するには：［■、キャンセル］を押す。

■タイトルの追加、訂正をするには

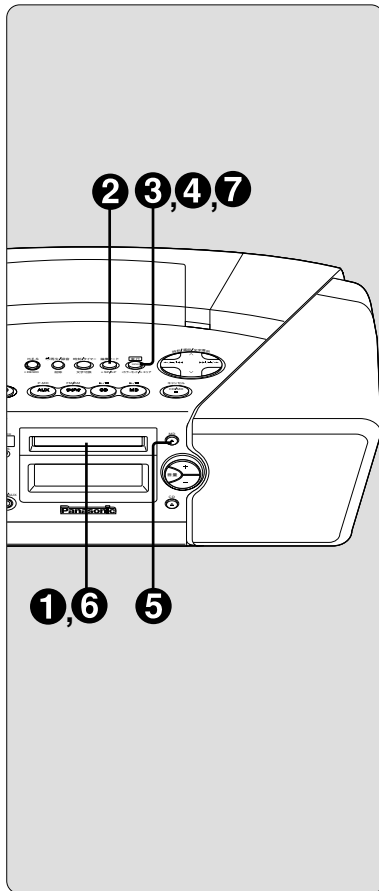
・録音中であれば：上記の❶～❸（リモコン）または❶～❹（本体）の動作をくり返してください。
・録音終了後であれば：録音済み MD のタイトル入力で行ってください。（⇨28ページ）

■タイトル入力中のトラック番号を確認するには：リモコンの［**表示切換**］を押す。

お知らせ

・入力したタイトルは 1曲目から順に記録されます。前の曲には戻れません。
・CD のランダム、リピート設定をしている場合は、まとめてタイトル入力できません。
　録音中の曲だけのタイトル入力になります。
・録音終了後は、まとめてタイトル入力できません。
・録音中に一時停止やトラックマークを付けた後は、まとめてタイトル入力できません。
・まとめてタイトル入力中、入力後は一時停止やトラックマークを付けることはできません。

同じ曲数を録音した MD へ、全タイトルをコピーできます。

タイトルを他の MD にコピーする（タイトルステーション）

■**途中で中止するには：［■、CD/MD、キャンセル］**を押す。

お知らせ

・本機が記憶できるタイトルは、MD 1枚分です。
・本機に記憶されたタイトルは、一度コピーすると消えます。
・コピー先の MD に、すでにタイトルが付いている場合は、新しいタイトルに変わります。
・演奏専用 MD のタイトルを、本機に記憶させることはできません。

■文字入力一覧表

MD にタイトル入力するときに参照してください。（⇨ 28、29ページ）

種　類	文字、数字・記号
カタカナ	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
	タ チ ツ テ ト ッ ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ
	モ ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ゛ ゜ ー
	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， － ． ／ ： ； < ＝ > ？ ＠ ＿ ｀ ␣
英　大	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， － ． ／ ： ； < ＝ > ？ ＠ ＿ ｀ ␣
英　小	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， － ． ／ ： ； < ＝ > ？ ＠ ＿ ｀ ␣
数　字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， － ． ／ ： ； < ＝ > ？ ＠ ＿ ｀ ␣

共通記号（“ ␣ ”はリモコンでは選べません。）

タイマーを使う

おめざめタイマー

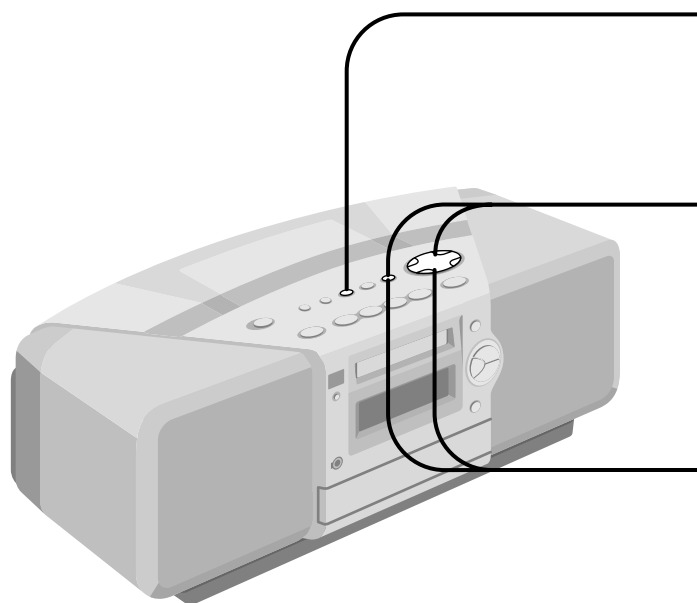
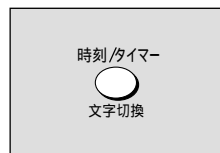
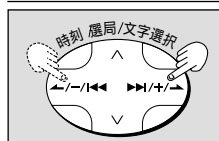
《タイマーを設定する前の 準備》
時計を合わせる（⇨8 ページ）

好みの時刻に電源が入り、好みのソース（音源）を演奏し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
一度時刻を設定しておくと、あとはソース設定を変えるだけで、違うソースでおめざめできます。

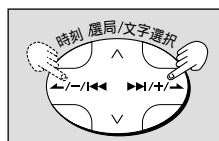
タイマー時刻設定

1

2回押して
タイマー時刻設定画面を選ぶ

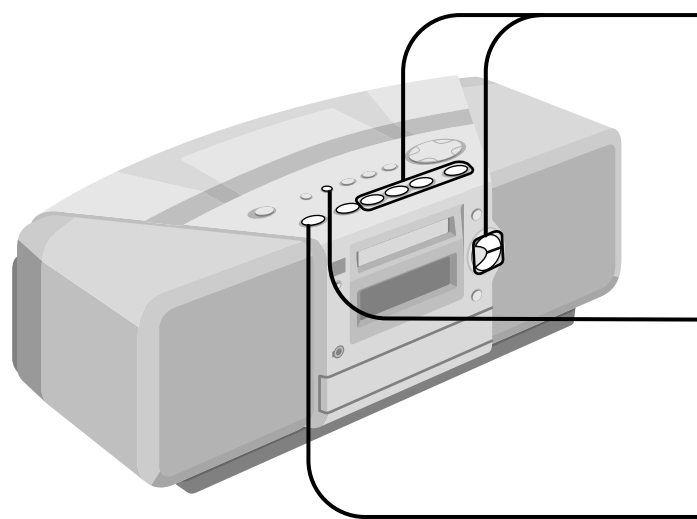
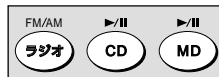
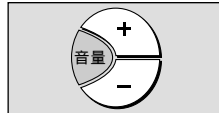
2

10 秒以内に
左または右を押して
開始時刻を選び

押す
[時刻／タイマー] を押しても設定できます。

3

左または右を押して
終了時刻を選び

押す
[時刻／タイマー] を押しても設定できます。

ソース・音量・タイマー実行設定

4

押して
ソースと音量をきめる
① MD、CD、または
ラジオを演奏し、
② 音量を調整する。
③（MD、CDのときは）
演奏を停止する。

5

押して
“ ◴PLAY ”を表示させる

6

押して
電源を切る
電源を切らないとタイマーが動作しません。

予約した時刻になると
演奏が始まります。（動作中は “ ◴PLAY ” が点滅）

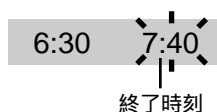
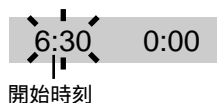
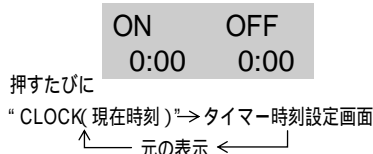
表示例）6:30〜7:40まで
好みのソースを演奏する場合

（24時間表示）

ON　　OFF
0:00→→ 0:00

押すたびに
“ CLOCK（現在時刻）”→**タイマー時刻設定画面**
↑―― 元の表示 ←――┘

開始時刻

終了時刻

外部機器を使ったタイマー設定
［P-MD、AUX］をポンと押して、本機のソースを“ AUX ”にした後、接続した外部機器を、本機と同時刻に動作するように設定してください。

押すたびに ◴**PLAY** ――――→ ◴REC
↑― 表示なし（OFF）←┘

◴PLAY
TIMER-PLAY

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。

- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

■おめざめタイマーを解除するには
電源「入」のときに［◴**再生**／**録音**］を押して、“ TIMER-OFF ” を表示させる。動作させるには、もう一度 “ ◴ PLAY ” を点灯させる。

■設定内容を確認するには
電源「切」のときに［**時刻**／**タイマー**］を押す。
ソース／開始時刻／終了時刻→音量の順に自動的に表示し（約 2 秒ずつ）、そのあと元の表示に戻ります。

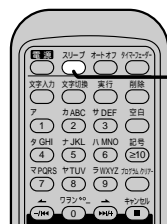
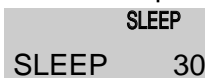
■設定内容を変えるには

時刻を変えるとき
電源を入れ、左記の手順**1**〜**3**、**6**を行う。

ソースを変えるとき
電源を入れ、［◴**再生**／**録音**］を押して “ TIMER-OFF ” を表示させ、そのあと左記の手順**4**〜**6**を行う。

■タイマー設定後でも、演奏や録音はできます
操作後は、必ず電源を切ってください。
電源が入っている場合はタイマーが動作しません。

おやすみタイマー リモコンのみ

好みの時刻がくると、ソースの演奏を停止し、電源が切れます。
MD、CD またはラジオを聞きながら

押して
演奏時間（分）を選ぶ

おやすみタイマー動作中に点灯

SLEEP
SLEEP　30

押すたびに　SLEEP 30 → SLEEP 60 → SLEEP 90
（単位：分）　↑― SLEEP OFF ← SLEEP 120 ←┘

■おやすみタイマーを解除するには
［スリープ］を “ SLEEP OFF ” が表示されるまでポンポンと押す。

■残り時間を確認するには
［スリープ］を一度だけ押す。残り時間が約 5 秒間表示されます。

■設定時間を変えるには
［スリープ］をポンポンと押して、好みの時間を表示させる。

おやすみタイマーは、他のタイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、予約時間が重ならないようにしましょう。

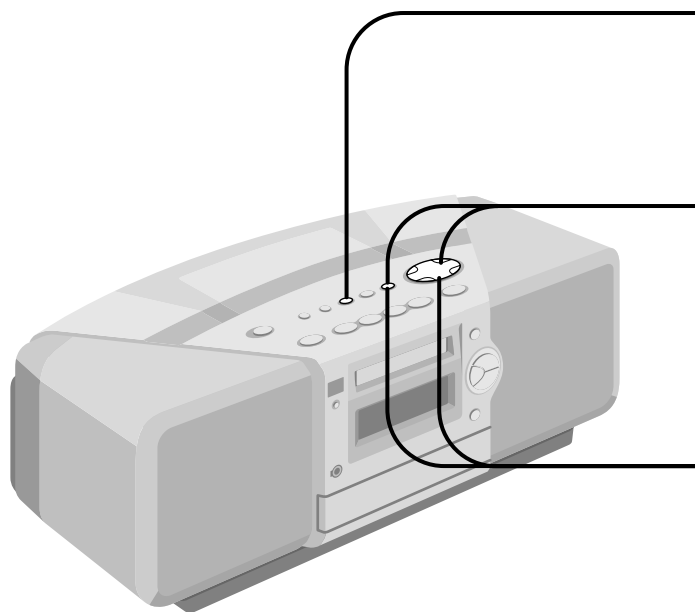
タイマーフェーダー機能 リモコンのみ

タイマー動作時の音量を徐々に大きく／小さくします。
徐々に小さくするのは、おやすみタイマーのみです。
おめざめ、おやすみタイマーと組み合わせて使います。
電源「入」のときに［**タイマーフェーダー**］を押します。
解除するには、もう一度押します。

お知らせ

- “ FADER ”表示中は、すべてのタイマーにタイマーフェーダーが働きます。（留守録タイマー時は、録音される信号には影響しません。）
- タイマーフェーダーは、“ FADER ”表示を消さない限り、毎日働きます。

留守録タイマー

《タイマーを設定する前の 準備》
- **時計を合わせる**（⇨8 ページ）
- **録音用 MD を入れる**（⇨17ページ）

好みの時刻に電源が入り、好みの放送を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

タイマー時刻設定

1

2回押して
タイマー時刻設定画面を選ぶ

2

10 秒以内に
左または右を押して
開始時刻を選び

実行
ENTER
・カラーモード/ーエリア

押す
[時刻／タイマー] を押しても設定できます。

3

左または右を押して
終了時刻を選び

実行
ENTER

押す
[時刻／タイマー] を押しても設定できます。

放送局・タイマー実行設定

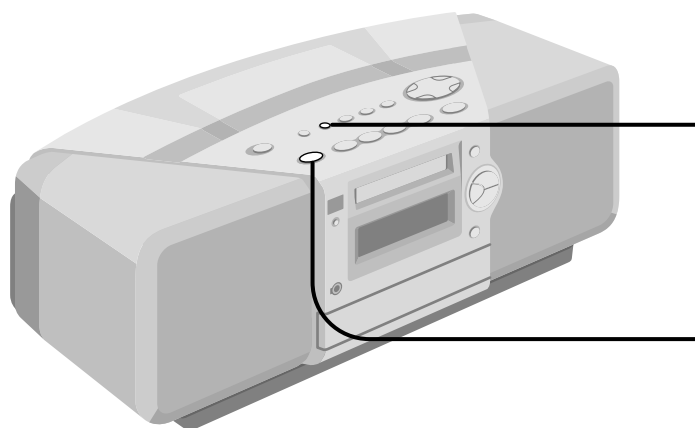
4

放送局を受信し、音量を調整する。
必要に応じて録音モードも設定してください。（⇨24ページ）

5

押して
“ REC ”を表示させる

6

押して
電源を切る

予約した時刻の 30 秒前になると
電源が入り、自動的に録音が始まります。音量は**手順4 で設定した大きさ**になります。（動作中は“ REC ”が点滅）

■留守録タイマーを解除するには
電源「入」のときに［ **再生/録音**］を押して、“ TIMER-OFF ”を表示させる。動作させるには、もう一度“ REC ”を点灯させる。

■設定内容を確認するには
電源「切」のときに［**時刻/タイマー**］を押す。ソース／開始時刻／終了時刻→録音モード／音量の順に自動的に表示し（約 2 秒ずつ）、そのあと元の表示に戻ります。

■設定内容を変えるには
時刻を変えるとき
電源を入れ、上記の手順**1**～**3**、**6**を行う。
ソースを変えるとき
電源を入れ、［ **再生/録音**］を押して“ TIMER-OFF ”を表示させ、そのあと上記の手順**4**～**6**を行う。

お知らせ
ターンバック録音モードでタイマー録音する場合でも、手順**2** で設定した開始時刻から録音が始まります。

表示例）18:30～19:20まで
好みの放送局を録音する場合

（24時間表示）

ON　OFF
0:00→→ 0:00

押すたびに
“CLOCK(現在時刻)”→**タイマー時刻設定画面**
↑— 元の表示 ←

FM 80.2 MHz

押すたびに ◴PLAY ——→ ◴**REC**
↑— 表示なし(OFF)←

◴REC
TIMER-REC

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に設定できません。

電源を切らないとタイマーが動作しません。

- タイマーを解除しない限り、毎日同時刻に動作します。

■タイマー設定後でも、演奏や録音はできます

操作後は､必ず電源を切ってください。電源が入っている場合はタイマーが動作しません。

便利な機能

時間やタイトルなどの情報を見るには

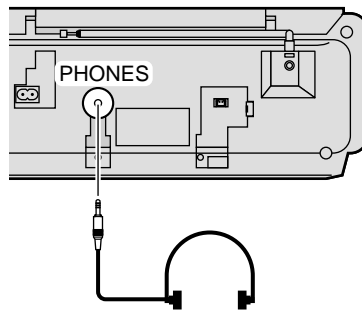
表示切換　**押す**

押すたびにいろいろな情報が表示されます。表示される内容は、現在行っている操作やソースなどによって異なります。

お知らせ

- MD の残り時間の表示は、録音用 MD で誤消去防止つまみを閉じている場合に限ります。
- 文字のスクロール表示は13文字以上の場合に限ります。
  スクロール表示中に［**表示切換**］を押すと、他の表示に移ります。

ヘッドホン（別売り）で聞くには

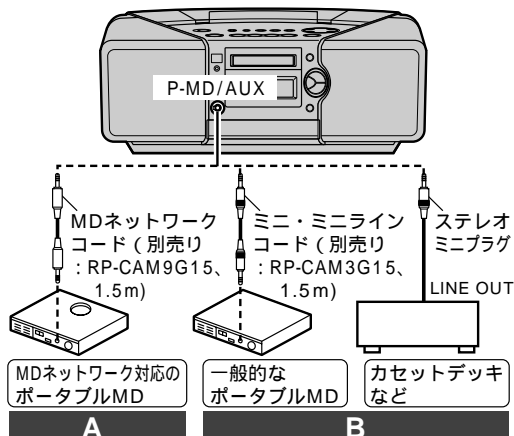
ヘッドホン
- プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
- 推奨品：RP-HT400、RP-HT242
  （共に別売り）

① 音量を下げる。
② 本体後面の［PHONES］端子にヘッドホンを接続し、音量を調整する。

お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

別売りの機器を使う

別売りの機器を接続する

● 電源を切ってから接続してください。

お願い

接続するコードは、CDトレイを開閉するときに、当たらないようにしてください。

■アナログプレーヤーを接続するには

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。

推奨品：当社のアナログプレーヤー　SL-J8（イコライザー内蔵）

SL-J8を本機に接続するには、ミニフォーン・ツウピンラインコード（別売り：RP-CAPM3G15）、ピンコード中継アダプター（別売り：RP-PA66A）が必要です。

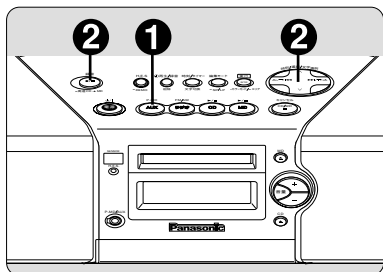
本機の［P-MD/AUX］端子に接続します。

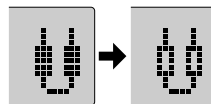
お手持ちのアナログプレーヤーがフォノイコライザー内蔵でないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番 RFKZ0088KIT）が必要です。そのまま接続すると、音が小さくなります。

A　MD ネットワーク機能で MD から MD に録音する

MD ネットワーク対応のポータブル MD プレーヤーから本機の MD に録音します。
ポータブル MD プレーヤーを本機でコントロールして録音、タイトルのコピーが簡単にできます。（演奏用 MD のタイトルはコピーできません。）

対応品

カタログにこのマークが付いているポータブル MD プレイヤーです。（SJ-MJ77など）

❶ ポンポンと押して **“ P-MD ”を選ぶ**

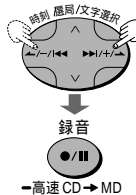
押すたびに
AUX ：一般の外部機器
↕
P-MD：MDネットワーク対応の機器

MD ネットワークの通信ができるようになると、エディットアイの表示が変わり、ポータブル MD 側の総曲数（トラック）が表示されます。

・入力レベルは HIGH(固定)です。

❷ ● 全曲録音するとき

押す

自動的に録音が始まります。
全曲の録音が終わると、自動停止します。
（曲間に数秒のブランクができます。）

● 1曲ずつ録音するとき

左または右を**押して曲番を選ぶ**

確認の意味で、選んだ曲が自動的に演奏されます。

録音

押す

自動的に曲のはじめに戻って録音が始まります。
1曲の録音が終わると、自動停止します。

お願い 録音、再生中はネットワークコードを抜かないでください。

■録音を停止するには

［■、CD/MD、キャンセル］を押す。

■MD ネットワーク機能でビジュアル／タイトルプリンター（対応品：SH-CP30）を使うには

MDに付いているタイトルを元にして、MD のラベルが印刷できます。

［P-MD/AUX］端子に接続して使います。詳しくはビジュアル／タイトルプリンターの説明書をお読みください。

お知らせ

- MD ネットワーク機能で高速録音はできません。
- MD ネットワーク機能はタイマーと組み合わせて使うことはできません。
- 本機側の MD にディスクタイトルが記録されている場合は、MD ネットワーク機能でもディスクタイトルはコピーされません。
- MD ネットワーク機能で録音終了後、ポータブル MD プレーヤーは節電のため、約 4 分後に自動的に電源「切」になります。（点滅表示になります。再び通信確立するには**［P-MD、AUX］**を押してください。）

B 別売り機器の演奏を本機の MD で録音する

❶

ポンと押して“ **AUX** ”を選ぶ

押すたびに AUX
↕
P-MD

❷

押して、録音モードを選ぶ（➪ 左下欄参照）

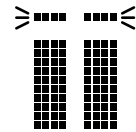
- MANUAL（マニュアル）
- SYNCHRO（シンクロ）
- TURN BACK（ターンバック）
- TIME MARK（タイムマーク）
- TURN/TIME（ターンバック／タイムマーク）

● **必要に応じて、入力レベルを選びます。**
本体の［**P-MD、AUX**］を押し続けるたびに

- NORMAL：レベルを変えないとき
↕
- HIGH　：レベルを上げたいとき
（ポータブル MD など信号レベルの低い機器）

❸ 実行 ENTER ・カラーモード/ーエリア **押す**

❹ 録音レベルの確認

● 外部機器のヘッドホン端子と接続しているときは、外部機器を演奏して、エディットアイ表示の最上段が、時々点灯する程度に、外部機器の音量を調整してください。

● 必要に応じて［**編集モード、ーSP/LP**］を押し続け、モードを切り換えます。（➪ 24ページ）

- SP：普通の録音（ステレオ）
↕
- LP：長時間録音（モノラル）

❺ 録音 ●/II ー高速 CD→MD **押す**

「SYNCHROモード」のときは、一時停止状態になります。外部機器から信号が入ると、自動的に録音が始まります。

お知らせ
「SYNCHRO モード」では音が一定レベルに達したところから録音が始まるため、曲によっては頭の部分が録音されないことがあります。その場合は「SYNCHRO モード」を使用せずに録音し、あとからディバイド機能（➪ 26ページ）などで編集してください。
（「SYNCHRO モード」では好みの位置にトラックマークをつけることはできません。）

❻ 外部機器を演奏する

録音モードについて

● **MANUAL（マニュアル）**
トラックマークは記録されません。

● **SYNCHRO（シンクロ）**
ソースから音が出ると、自動的に録音が始まります。また、約 3 秒以上の無音部分があると、自動的に録音待機状態になり、そこにトラックマークが入ります。

● **TURN BACK（ターンバック）**
頭切れしないように、数秒前の音から録音します。（➪ 24ページ）

● **TIMEMARK（タイムマーク）**
5分おきにトラックマークが自動記録されます。

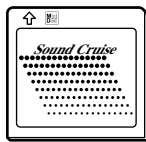
● **TURN/TIME**
TURN BACK（ターンバック）
＋
TIMEMARK（タイムマーク）

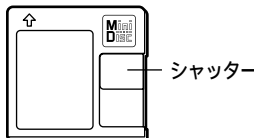
■**録音を停止するには：［■、CD/MD、キャンセル］**を押す。

MD について

MD の種類

■演奏専用 MD

録音はできません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■録音用 MD

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

MD の録音・編集について

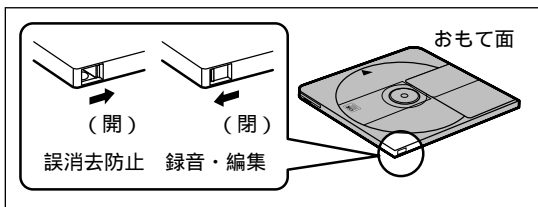
■テープとは違います

録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、 ERASE 機能でいらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません。）

■MD1 枚への録音曲数は 254 曲、録音時間は 60 分、74 分、または 80 分までです。

ただし、 MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■大切な録音を消さないために

MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集を行うときは閉じてください。

■デジタル録音の制限について

デジタル録音（本機の CD → MD への録音）には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD へデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで著作権保護のため、この MD からさらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。(“ コピーのコピー ” の禁止)。
なお、アナログ録音（ラジオ→ MD や［P-MD/AUX］→ MD への録音）にはこのような制限はありません。

■録音、編集時のお願い

録音や編集を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。
“ UTOC Writing ” の点滅前に電源が切れると、録音、編集が記録されません。また、点滅中に電源が切れたり振動があると、正しく記録されません。
“ UTOC Writing ” は通常の録音で約 10 秒、タイトル編集中で最大約 60 秒表示されます。

よく出てくる MD 用語

■ TRACK MARK（トラック マーク）

録音部分に記録される「区切り」のことです。
ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。

■ TOC（トック）(Table of Contents)

MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

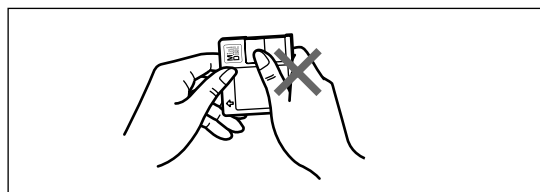
■ UTOC（ユートック）(User Table of Contents)

利用者が自由に書き換えられる TOC です。
入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“ UTOC Writing ” と表示され、注意を促します。

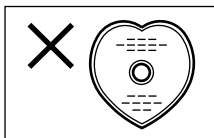
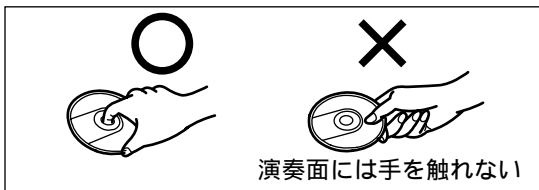
■ MARKING（マーキング）

録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングするほか、曲を聞きながら好みの位置に自分でマーキングすることもできます。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない。
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがしたあとのある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください。）
- シャッターは開かない。
（万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手をふれないでください。）

CD について

のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート形など特殊形状のCDはご使用にならないでください。（機器の故障の原因になります。）

■**持ちかた**

■**汚れたときは**

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

■**露がついたら**

急に暖かい室内に持ち込んだときなどに、露がつくことがあります。その場合は乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CDそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

MD・CD の保管

■**次のような場所に置かない**

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房機具の熱が直接当たる場所

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：㈳私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD やテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎ (03) 3502-6551
北海道支部	☎ (011) 221-5088
盛岡支部	☎ (0196) 52-3201
仙台支部	☎ (022) 264-2266
大宮支部	☎ (048) 643-5461
東京支部	☎ (03) 3562-4455
西東京支部	☎ (03) 3232-8301
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5286-1671
立川支部	☎ (0425) 29-1500
横浜支部	☎ (045) 662-6551
静岡支部	☎ (054) 254-2621
中部支部	☎ (052) 583-7590
北陸支部	☎ (0762) 21-3602
京都支部	☎ (075) 251-0134
大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大阪北支部	☎ (06) 6244-7077
神戸支部	☎ (078) 322-0561
中国支部	☎ (082) 249-6362
四国支部	☎ (0878) 21-9191
九州支部	☎ (092) 441-2285
鹿児島支部	☎ (0992) 24-6211
那覇支部	☎ (098) 863-1228

お手入れ

■**本機が汚れたら**

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■**MD、CD を良い音でお楽しみいただくために**

別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

推奨品：MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
　　　　MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）
　　　　CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	**手持ちのアナログプレーヤーを接続したい。**	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、市販のフォノイコライザーアンプが必要です。 そのまま接続すると、増幅機能がないため音が小さくなります。	36
	有線放送を接続したい。	［P-MD/AUX］端子に接続します。 **［P-MD、AUX］**をポンと押して“AUX”を選んでください。	36
	TV を接続したい。	［P-MD/AUX］端子に接続します。 **［P-MD、AUX］**をポンと押して“AUX”を選んでください。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	36
	マイクを接続したい。	マイク端子はありません。	
MDの録音と演奏	**MD ネットワーク対応機器について教えて。**	MD NETWORK カタログにこのマークの付いている製品が対応しています。	36
	録音した曲に上書きで録音したい。	MD はテープとは異なり、上書き録音はできません。 MD の録音残り時間が少ない場合は、ERASE 機能で不要な曲を消してから録音してください。	38 27
	一度録音した MD に追加で録音したい。	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	
	録音中に、音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量や音質を調整してスピーカーから出る音を変えても、録音される音には影響しません。 録音レベルは自動的に設定されます。	
	MD の残り時間を知りたい。	MD 停止中にリモコンの**［表示切換］**を押して、“MD Rem”を表示させる。	35
	長時間（モノラル）録音したい。	LP：長時間録音モードに設定します。	24
	ステレオ/モノラル（長時間）再生はどうやって切り換えるの？	録音された状態によって、自動的に切り換わります。	
その他	**引っ越ししても、そのまま使えるの？**	東日本、西日本に関係なく使えます。 ラジオのエリアバンクは設定しなおしてください。	20

こんな表示が出たら

	表　示	意味または処置
共通	ADJUST CLOCK	時計を合わせてください。
	ADJUST TIMER	タイマーの時刻を設定してください。
	CHANGE TIME	タイマーの開始時刻と終了時刻が同時刻になっています。終了時刻を変えてください。
	ERROR	操作が違います。
MD操作中	BLANK DISC	MD に一曲も録音されていません。聞くときは録音済み MD を入れてください。録音はそのまま行えます。
	CAN NOT EDIT	他の機器で 100文字を超えるタイトルをつけた MD は、本機でタイトル編集できません。 演奏中のタイトル入力後、MD 編集はできません。
	CAN'T MEMORY	転写元の MD タイトルが記憶できていません。再度操作してください。
	DISC ERROR	MD に異常があるか、損傷しています。
	DISC FULL	MD のあき時間がたりません。
	DISC、PROTECTED（交互に表示）	MD 誤消去防止状態になっています。
	EJECT ERROR　または LOAD ERROR	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。自動的に電源が切れますので、MD を入れ直してください。
	EMERGENCY、STOP（交互に表示）	録音中に異常が発生しました。MD を入れ直してください。
	MD F26	一度電源を切/入してから MD を入れ直してください。
	NOT DIVIDE	ディバイドできません。（MD の記録方式上の制約です。）
	PlaybackDISC	演奏専用 MD のため、録音や編集はできません。
	P - MD（点滅表示）	ポータブル MD との通信が中断しています。再度［**P-MD、AUX**］を押してください。
	P - MD ERROR	ポータブル MD との通信エラーです。再度［**P-MD、AUX**］を押してください。
	NOT COMBINE	コンバインできません。（MD の記録方式上の制約です。）
	TRACK×××、PROTECTED、 ERASE××??（交互に表示）	曲にプロテクト（保護）がかかっています。消去していいか確認してください。消去することはできます。
	REC ERROR	録音中に異常が発生しました。表示中は音声は録音されていません。
	SCMS、CAN NOT COPY（交互に表示）	ビデオ CD や CD-ROM などからは録音できません。
	SELECT OVER	これ以上イレースするトラックを選べません。
	TITLE FULL（約 2 秒点灯）	タイトルを、本機にこれ以上記憶できません。 各トラックのタイトル入力は100文字までです。
	TITLE OVER	録音中、演奏中はこれ以上タイトル入力できません。
	TOC Reading	MD の情報を読み込み中です。この間は操作できません。
	TRACK NUMBER、 NOT EQUAL（交互に表示）	曲数の違う MD へはタイトルステーション機能は使えません。
	TRACK、PROTECTED（交互に表示）	消去ができないように設定されているため、その曲は消去できません。
	UTOC FULL	MD に情報を書き込める余白がありません。不要なタイトルや曲を消去してください。 （UTOC FULL の状態ではディバイドも行えません。）

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
システム全体に共通	**電源を切っているのに、表示が点灯して、次々と変化する。**	デモ機能が働いていませんか。	8
	音が出ない。	● 音量が最小になっていませんか。 ● ヘッドホンを接続していませんか。	11 35
	予約時刻になってもタイマーが動作しない。	電源が入っていませんか（おめざめ、留守録タイマー）。電源を切らないと動作しません。	32～35
		表示（◴PLAY、◴REC、SLEEP）が点灯していますか。点灯させてください。	
	電源「切」時に時計が表示されない。	時計を合わせてください。	8
	記憶させた放送局、タイマー予約、時刻が消えた。	再設定してください。電源オフ時も、電源プラグをコンセントに差し込んでおくことをおすすめします。	6
MD	**演奏できない。**	寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	
	録音できない。	● 演奏専用 MD を入れていませんか。 ● MD が誤消去防止状態になっていませんか。 ● すでに録音された時間または曲数(上限 254 曲)がいっぱいになっていませんか。不要な曲があれば、消してから録音してください。 （MD はたとえ 1 秒の録音でも約 2 秒分の領域を使うため、短い曲を多く録音すると、演奏側の時間表示より録音時間が少し長くなります。）	38
	MD を入れても曲数などが表示されない。	MD 以外のモード（CD、ラジオなど）になっていませんか。**[■、キャンセル]** を押して、MD に切り換えてください。	
		MD が破損しているかもしれません。別の MD で確認してみてください。	
	MD を入れても自動的に引き込まれない。 また、入れるのに力がいる。	電源を入れ直してみてください。MD の排出中に無理な力を加えると、このようになる場合があります。	
	コンバインやディバイドができない。 また、曲を消しても残り時間が増えない。	録音・消去を繰り返していると、録音データがしだいに細かく分断されていくため、左記のような状態になることがあります。（MD の記録方式上の制約です。） この時サーチを行うと、音が途切れたりすることがあります。	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
CD	**演奏できない。CD を入れても曲数などが表示されない。**	●CD が裏表逆になっていませんか。 ●規格外の CD を使っていませんか。	12 39
		CD がひどく曲がったり傷ついたりしている場合は使用できません。	
		寒いところから急に暖かいところへ持ってきたときなどに、レンズ部に露が付く場合があります。1時間ほど待ってください。	
	特定の個所が演奏できない。	CD が汚れている場合は、柔らかい布でふき取ってください。	39
ラジオ	**FM がよく受信できない。雑音やひずみが多い。**	ホイップアンテナの長さや向きを変えてみてください。	7
		テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は、切ってみてください。	
		送信所が遠い場合、または鉄筋ビルの中などでは電波が弱くなります。 窓際など、条件の良い場所に設置してください。	
	AM がよく受信できない。雑音が多い。	●AM ループアンテナを接続していますか。 ●AM ループアンテナの向きや位置を変えてみてください。	7
		テレビ、ビデオ、BS チューナーなどの電源が入っている場合は、切ってみてください。	
		アンテナのコードの近くに電源コードがある場合は、離してください。	
	テレビ放送が受信できない。	ラジオは FM バンドになっていますか。 テレビは1 ～ 3 チャンネルの音声のみ、FM バンドで受信可能です。	15
リモコン	**リモコンが動かない。**	●乾電池の⊕ ⊖が逆に入っていませんか。 ●乾電池が消耗している場合は、新しい乾電池と取り替えてください。	7
		本機との間に障害物はありませんか。	7

メモリーのリセット（初期化）

次のようなときは、右の手順で、メモリーをリセット（初期化）してください。

- ボタンを押しても何も反応しない。
- メモリー内容を消して、再設定したい。

●メモリー内容をリセット（初期化）するには

① 電源プラグを、コンセントから抜いておきます。
② 本体の［ ⏻/I 電源］を押し続けながら
③ 電源プラグをコンセントに差し込み
表示部に“ ------------ ”が表示されたら
④［ ⏻/I 電源］を離す

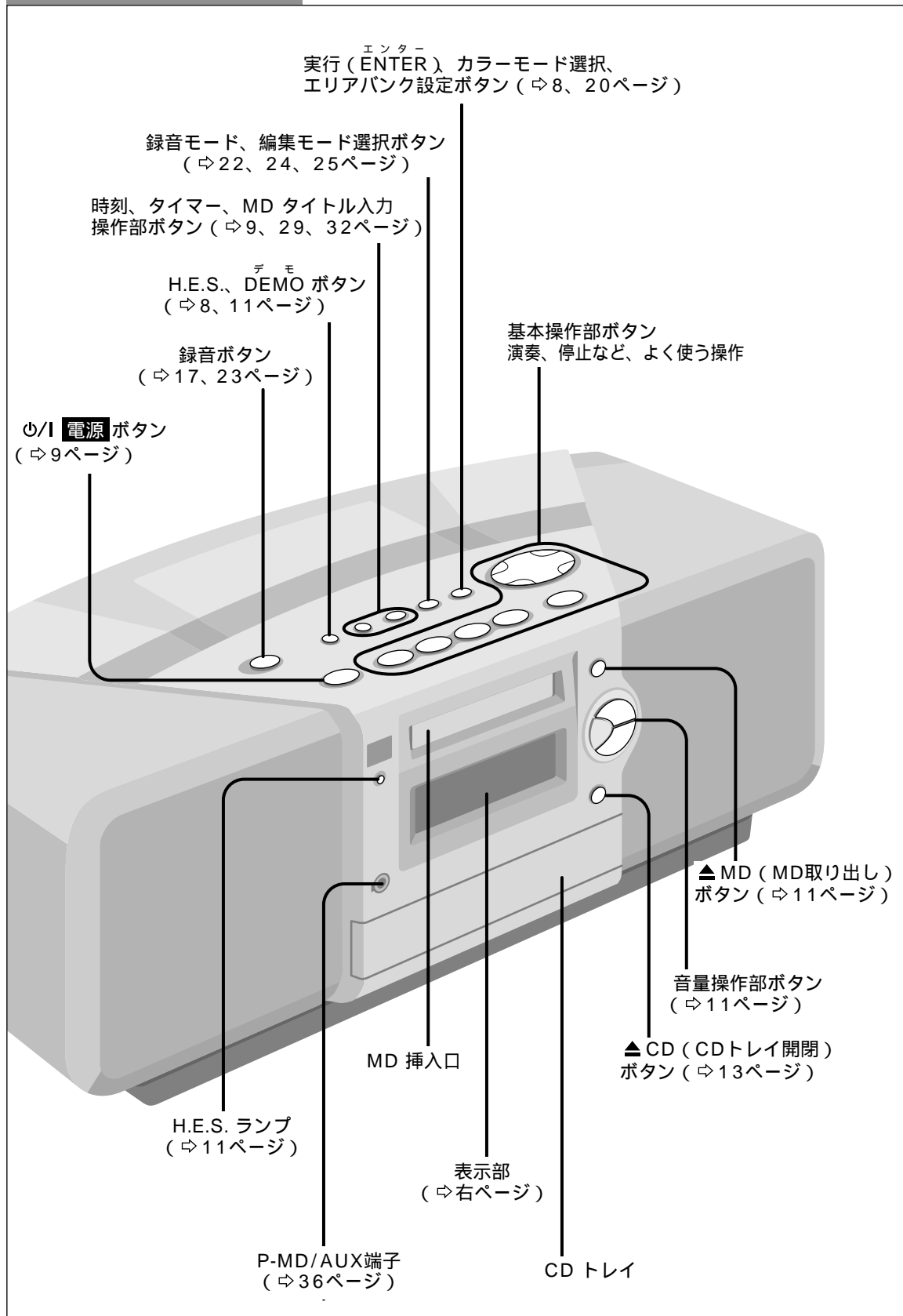
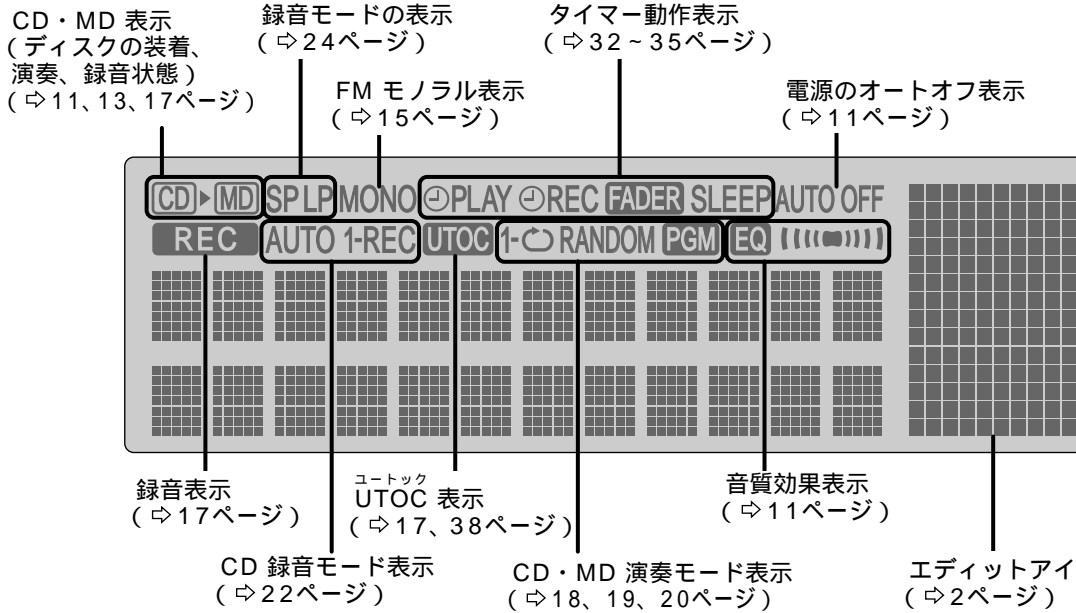
●メモリーをリセット（初期化）すると

- 高速録音は約 74 分後まで使えません。
- 時計、放送局などの再設定が必要です。

必要なとき

各部のなまえ

本体（操作部）

各部のなまえ

本体（表示部）

リモコン

このボタンはリモコンのみです。本体に同じ働きをするボタンはありません。

電源 ボタン

スリープ（おやすみ）タイマーボタン（➪33ページ）

オートオフボタン（➪11ページ）

タイマーフェーダーボタン（➪33ページ）

実行ボタン

CD・MDプログラム（予約演奏）、
クリアー（予約解除）ボタン（➪19ページ）

トラックマークボタン（➪17ページ）
MD にトラックマークをつける

CD・MD 演奏モードボタン
（➪18、19ページ）

音質切換ボタン（➪11ページ）

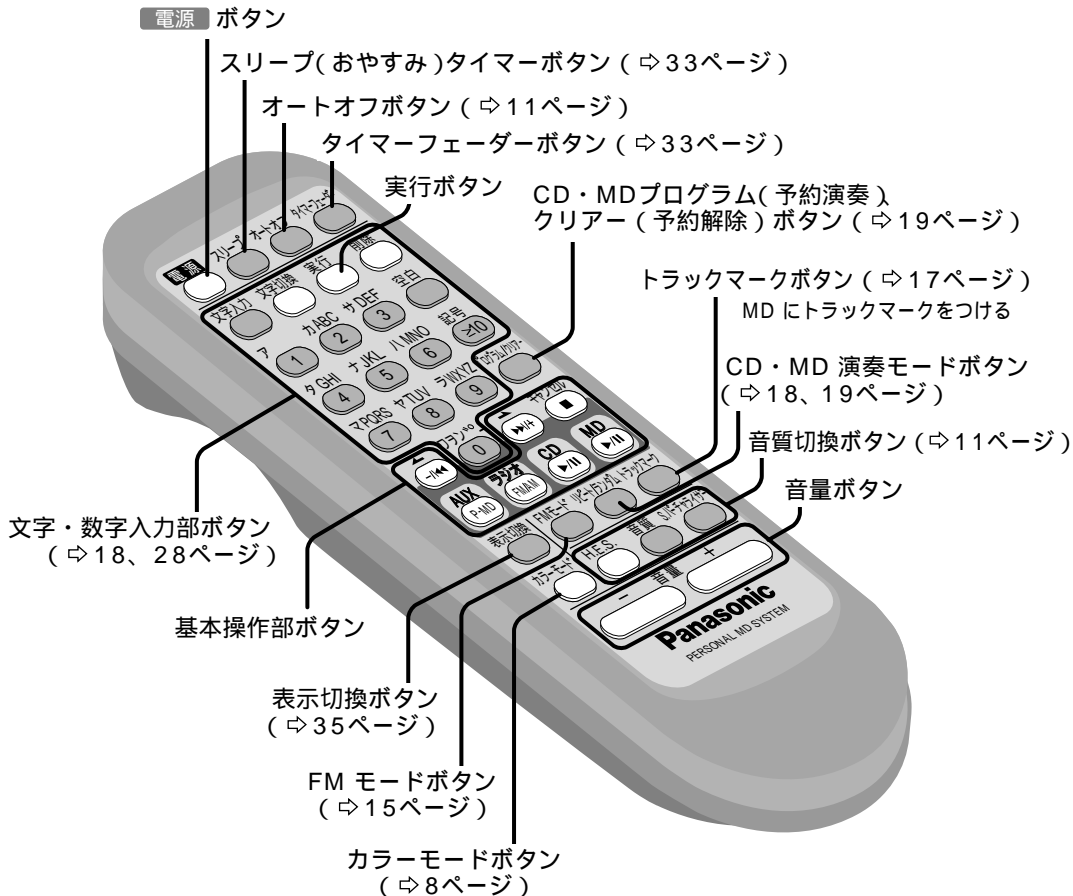
音量ボタン

文字・数字入力部ボタン
（➪18、28ページ）

基本操作部ボタン

表示切換ボタン
（➪35ページ）

FM モードボタン
（➪15ページ）

カラーモードボタン
（➪8ページ）

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

40～43ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、パーソナル MD システムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8年です。
  注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

[技術料] は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

[部品代] は、修理に使用した部品および補助材料代です。

[出張料] は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物のご相談は

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

フリーダイヤル（料金無料） **0120-878-365**（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ **0570-087-087**

- ●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- ●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
  （ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎ (011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎ (0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎ (0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎ (0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎ (027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎ (029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎ (0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎ (086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎ (082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎ (0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎ (088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎ (088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎ (089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎ (0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0600

主な仕様

ラジオ

受信周波数	
FM	：76.0～90.0 MHz,（TV 1ch～3ch）
AM	：522～1629 kHz（9 kHzステップ）

MD デッキ

記録方式	：磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	：半導体レーザー（波長 780 nm）による非接触光学式
サンプリング周波数	：44.1 kHz
圧縮／伸張方式	：ATRAC 方式
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下

CD プレーヤー

サンプリング周波数	：44.1 kHz
量子化	：16 ビット直線
光源	：半導体レーザー（波長 780 nm）
チャンネル数	：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	：測定限界以下
DA コンバーター	：MASH（1 ビット DAC）

リモコン

電源	：DC 3 V、(単3形乾電池 2 個)
最大外形寸法	
（幅×高さ×奥行き）	：50×150×25 mm（EIAJ）
質量	：約 92 g（乾電池を含む）

共通

スピーカー	
フルレンジ	：7 cm／3 Ω 、2 個
入力端子	
P-MD (6P) / AUX (M3)	
P-MD、AUX (HIGH)	：−19 ± 2 dBV
AUX (NORMAL)	：−10 ± 2 dBV
出力端子	
PHONES	：ステレオ M3 (適合ヘッドホンインピーダンス 16～64 Ω)
実用最大出力	：10 W (5 W ＋ 5 W)（EIAJ）
電源	：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	：23 W
最大外形寸法	
（幅×高さ×奥行き）	：380 × 153 × 218 mm（EIAJ）
質量	：約 4.0 kg

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源オフ時の消費電力：約 0.7 W

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検　長年ご使用のパーソナル MD システムの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ

おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	品　番	RX-MDX50
販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

松下電器産業株式会社　デジタル AV ネットワーク事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT5558-S
M0600NM0